滑川村（二萬分一地形圖）　二九五
名寄（五萬分一地形圖）　二九六
名寄（二十萬分一帝國圖）　三〇一
なら
奈良（五萬分一地形圖）　六五
奈良縣管內全地圖　二九七
奈良縣磯城郡誌　三三
奈良縣史蹟勝地調査會報告書　一三〇
奈良縣史蹟名勝天然紀念物
　調査報告　一三〇
奈良縣高市郡古墳誌　一三〇
奈良縣高市郡志料　一三三
奈良縣に於ける指定史蹟　一三〇
奈良縣南葛城郡誌　一三一
奈良縣名勝寫眞帖　一三一
奈良縣大和國實測全圖　一三三
奈良市街全圖　一三一
奈良市史　一三一
習志野原及周回邨落圖　三〇三
奈良と京都　一三三・一三一
奈良之繪圖（和州・明治一二）　一三三
奈良明細全圖　一三三
奈良名所記　一三三
奈良名所八重櫻　一三三
奈良若草山西麓に於ける重
　要史蹟　一三三
成田（五萬分一地形圖）　二九六・二九九
成田（五萬分一地形圖）　八〇
成田系圖　八〇
成田家分限錄　八〇
成田參詣記　二九五
成田山名所圖會　二九六
成田鐵道名勝誌　三〇一
成田村（二萬分一地形圖）　二九五
成田名所圖會　八一
鳴門航門（海圖）　三一七
南留別志　三六
南越志　三一〇・三六
南越筆記　一七八
南漢氣記　一八〇・三六
南歐探古記　三五〇・三六
南翁夢錄　三六
南家　三五一
南海寄歸內法傳　三六
南海寄歸內法傳（國譯）　二五一・三六
南海寄歸內法傳解纜鈔　三六
南海紀行　三五
南海奇勝　三六・三六
南海紀聞　三一〇
南海古蹟記　三六
南海史論　三六
南海中之波斯　二五二・三六
南海鐵道旅客案內　三六
南海傳絹衣比量鈔　三六
南海電車案內　三六
南海普陀山　三三
南海游草　三六
南海流浪記　四三・四八・三六
南陸六舟記　三六
南嶽紀遊　一八六
南嶽總勝集　八一
南漢志　五八・八一
南鳳湯紀遊（郭鍾岳）　八一
南鳳湯紀遊（張盛藻）　二九五
南鳳湯遊記　八一
南漢劉氏の祖先につきて　三六
南歸記（吳錫麒）　三六
南歸記（方宗誠）　一七八
南紀德川史　一八〇・三六
南歸遊賞小志　三五〇・八一
南紀游草　三六
南極（世界地理風俗大系）　二五一
南極記　三六
南極新地辨　四八
南極探檢　三五
南極探檢と皇太神宮の奉齋　三六
南極探檢日記　三一〇
南京糧食調査　三六
南行記　三三
南康記　三三
南江考　三三
南向茶話　三六
南行日記　三三
南國記　三三
南國奇話　四三
南國史話　三三
南國の美人　一八六
南壺谷閒見別錄　三一・四一
南筑明覽　一四四
南通紀遊　一四七
南通旅行記　一七七
南天竺婆羅門僧正碑註　二三四・二七
南投（五萬分一地形圖）　三一八
南島偉功傳　二九九
南島沿革史論　一四七
南島紀事　一四八
南島紀事外篇　一四八
南島經濟記　一四八
南島研究　一四三
南湯山温泉遊記　六五
南島志　一八九
南島巡航記　一四八
南島探險　二六九
南島探檢　一四八
難讀驛名　三五
難讀郡名　三五
難讀町村名　三五
南都七大寺巡禮記　三三
南都巡禮記　三三
南都石佛順禮　三三
南都名所記　三三
南都名所集　三三
南都攬勝記　三五・三三
南蠻襲來につきて　一八九
南蠻長崎草　二五四
南汎錄　一三
南美洲三國志　九一・一三
南溟記　一八・八六
　二五・二六
南壺谷閒見別錄　二三四
南山志賀記抄　一五八
南山の歷史　一七四
楠氏遺蹟志　一七四
南支南洋　一九〇
南支南洋經濟交通地圖　二三四・二七
南支南洋研究　一七六
南支風土記　一七七
南巡屆從紀略　三三
南巡日錄　一八九
南巡名勝圖說　三三
南俠郡誌　一三三
南詔野史　一三〇
南淨志　二〇・二八
南清地方探檢略記　二八〇
南清風景談　一八〇・二八九
南豆風土誌　二八九
南齊書夷貊傳地理攷證　二八九
南西諸島臺灣及澎湖列島（水
　路誌）　二三
南謄部洲萬國掌菓之圖　四三・一九
南謄部洲萬國掌菓圖に就て　二一四
南總往來　一七五
南總紀行旅眼石　九〇
南總郡鄉考　一七七
南宋故都宮殿　二六六
南宋市肆紀　二五
南總珍　一四〇
南總の市原　一七〇
南總の海と大原　四二
男體山（五萬分一地形圖）　二六・二九
南筑明覽　一四一
南通紀遊　一八八
南通旅行記　一八九
南天竺婆羅門僧正碑註　二五六
南投（五萬分一地形圖）　二九九
南島偉功傳　一四七
南島沿革史論　一四八
南島紀事　一四八
南島紀事外篇　一四八
南島經濟記　一四三
南島研究　六五
南湯山温泉遊記　一八九
南島志　一四八
南島巡航記　一四八
南島探險　一四八
南島探檢　三九
南島偉功傳　三九
南島沿革史論　三三
南島紀事　三三
南島紀事外篇　三三
南島經濟記　三三
南島研究　三三
南湯山温泉遊記　三三
南島志　三三
南島巡航記　三三
南島探險　三三
南島探檢　三三
難讀驛名　三三
難讀郡名　三三
難讀町村名　三三
南都七大寺巡禮記　三三
南都巡禮記　三三
南都石佛順禮　三三
南都名所記　三三
南都名所集　三三
南都攬勝記　三三
南蠻襲來につきて　三三
南蠻長崎草　三三
南汎錄　三三
南美洲三國志　三三
南溟記　三三
南方紀行　二六六
南豐風俗物產志　二七
南方文化の建設へ　六八
南北　六八
南北アメリカ縱貫鐵道　六八
南北朝時代の滿洲　三五
南北豐鳴兩郡全圖　二六六
南北堀江誌　二六六
南遊記　二六六
南遊紀行（高橋克庵）　二六六
南遊紀行（貝原篤信）　二六六
南遊雜記　二六六
南遊茶話　二六六
南遊誌（馬元烈）　二六六
南遊志（齋藤正謙）　二六六
南遊史話　二六六
南遊草　二六六
南遊日記（王錫祺）　二六六
南遊日記（重遠）　二六六
南遊筆記　二六六
南洋（上田彌兵衞）　二六六
南洋（兒玉晉松）　二六六
南洋（世界地理風俗大系）　一九・二六六
南洋（改訂版世界地理風俗大
　系）　一九・二六六
南洋委任統治諸國の重要性　二六七
南洋及印度に於ける養豚業
　と豚肉加工品需給の狀況　二三三
南洋各地人口地圖　二三三
南洋各地物產・交通・人口地圖　二三三
南洋各地邦人企業要覽　二三三
南洋各地邦人企業地圖　二三三
南洋各地邦人栽培企業要覽　二三三・二三三
南洋各島國論　六
南洋記（陣倫炯）　二四三
南洋記（安藤盛）　三〇六
南洋群島案內　二八
南洋群島現勢要覽　七五
南洋群島の研究　四二・二七
南洋群島獨案內　八
南洋群島旅行日記　二六六
南洋經濟地誌　一九〇
南洋經濟地圖　三三
南洋研究專號　四八
南洋講演集　三三
南洋航海須知　一七
南洋是嵓考　一九
南洋事宜論　一七
南洋視察報告　一七
南洋時事　二六六
南洋事情　二六六
南洋シベリヤ無錢探檢拾萬哩　二五
南洋詳細地圖　三八
南洋文獻目錄　一八
南洋僧見　二六六
南洋篇（學徒至誠會派遣團研
　究報告）　二七
南洋篇（日本地理大系）　三五・二七
南洋ヤルート島ニ於ケル重
　力偏差測定報告　二六九
南洋遊記　二六七
南豫史　三九
南來志　一七八
南陸志　二一四
南隣の友邦比律賓　二六八
ニ
新潟　一〇〇
新潟（五萬分一地形圖）　二九六
新潟（二十萬分一地形圖）　二九三・二九四
新潟（輯製二十萬分一圖）　三〇〇・三〇一
新潟（二十萬分一帝國圖）　三〇一
新潟紀勝詩　一〇〇
新潟縣下に於ける積雪の地
　域的研究　五
新潟縣管內國縣道里程實測圖　三一〇
新潟縣管內新獨立町村區畫
　全圖　三一〇
新潟縣管內地誌　一〇〇
新潟縣北蒲原郡全圖　三一〇
新潟縣史蹟名勝天然紀念物
　調査報告　一〇〇
新潟縣史談　一〇〇
新潟縣全圖　三一〇
新潟縣地誌撮要圖解　一〇〇
新潟縣地理歷史教科書　一〇〇
新潟縣の七大物產分布統計　一〇〇

圖表　一〇〇
新潟縣名所要覽　一〇〇
新潟港至男鹿半島（海圖）　三一七
新潟港史　一〇〇
新潟古圖　三一〇
新潟雜記　一〇〇
新潟市史　一〇〇
新潟市實測圖　三一〇
新潟新繁昌記　一〇〇
新潟沼垂對照圖（延寶）　三一九
新潟繁昌記（岡田有邦）　一〇〇
新潟繁昌記（寺門靜軒）　八五・一〇〇
新斥富史　一〇〇
新潟土産　一〇〇
新潟略史　一〇〇
新島（五萬分一地形圖）　二九六
新高山阿里山案內　一三五
新高登山案內　一三三
新津（五萬分一地形圖）　二九六
新居濱（五萬分一地形圖）　二七一
新治郡案內　三一〇
新見（五萬分一地形圖）　二九七
贊能餘賀樂美（ニエノシンガラミ）　七六
仁尾（五萬分一地形圖）　二九七
仁賀保領出兵實效錄　七五
ニカラグア共和國事情　二九九
仁木（五萬分一地形圖）　六八
二郡見聞私記　二七三
尼港めぐり　二九七
西赤尾（五萬分一地形圖）　二九七
西アジア（世界地理風俗大系）　一九・二六一
西アジア（改訂版世界地理風俗大系）　一九・二六一
西アジア諸族　二六一
西亞細亞旅行記　二六一
西市（五萬分一地形圖）　二九八
西インド諸島（世界地理風俗大系）　一九・二六二
西インド諸島（改訂版世界地理風俗大系）　一九・二六二
西蝦夷日誌　一五〇
西表島（二十萬分一帝國圖）　三〇一
西方（五萬分一地形圖）　二九八
西加茂郡誌　一二五
西蒲原郡誌　一〇〇
錦木　七〇
錦木塚の由來　六八
遡辭貴廼波末（クニヤキ）　六七・七一
西國東郡誌　一四五
西頸城郷土史料　一〇一
西久保より愛宕下邊堺上寺　三〇五
海手迄（江戸邸宅圖）　七三
西白河郡誌　一五一
西田川郡御巡幸顚末書　二九八
西達布（タプ）（五萬分一地形圖）　一三三
廿世紀之京都　二〇〇
廿世紀の中亞　二九七
西津村（五萬分一地形圖）　二九八
西德富（トクブ）（五萬分一地形圖）　二九八
西成郡一圓之圖　一〇〇
西成郡史　一〇〇
西成郡要覽　一〇〇
西之島（五萬分一地形圖）　二六一
西寶珠花村（二萬分一地形圖）　二六一
西丸大奥繪圖（元治元）　二六一
西丸大奥向惣繪圖（天保九）　二九八
西丸假御殿繪圖（元治元）　三〇七
西丸御殿向表中奥惣繪圖（嘉永六）　三〇七
西宮町（二萬分一地形圖）　二九六
西村山郡史　一〇〇
西紋鰽（モンベツ）（五萬分一地形圖）　三〇一
西山梨郡志　一〇〇
廿四輩巡拜記　一〇〇
二十萬分一輯製圖　二九九・三〇〇・三〇一
二十萬分一帝國圖　六六
二代田村　一〇〇
日印協會々報　一四五
日濠協會々報　一〇一
日獨戰爭地圖　一〇一
日原（五萬分一地形圖）　二九七
日米年鑑　一〇〇
日光（田山花袋）　一〇〇
日光（史蹟名勝天然紀念物保存會）　一〇〇
日光（五萬分一地形圖）　二九六・二九九
日光（二十萬分一地形圖）　二九九
日光（訂正）（二十萬分一地形圖）　二九九
日光（輯製二十萬分一圖）　二九九・三〇〇・三〇一
日光（二十萬分一帝國圖）　三〇一
日光案內記　一〇〇
日光驛程見聞雜記　一〇〇
日光紀行　一〇〇
日光雜記　一〇〇
日光山紀行　四六・七一・一〇〇
日光山志　五九・七一・一〇〇
日光山全圖　三〇三
日光山名跡誌　一〇〇
日光並木街道　一〇〇
日光並木寄進碑　一〇〇
日光日歷　一〇〇
日光名勝記　一〇〇
日光遊覽案內　一〇〇
日支交通の研究　二四四
日州船漂落紀事　二六
日清韓關係實測圖　二六
日清韓三國地圖（清水常次郎）　三一八
日清韓露最新地圖　三一八
新田氏郷土史論　一〇〇
入唐記　一〇〇
入唐求法巡禮行記　一〇〇
入唐五家傳　一〇〇
日東行程考　一〇〇
入唐取經願文　一〇〇
入唐諸家傳考　一〇〇
二どめの獨逸　一〇〇
二人行脚　一〇〇
二濃紀行　一〇〇
二之丸御指圖（嘉永二二）　三〇七
日本アルプス　一〇〇
日本アルプス縱斷記　一〇〇
日本アルプス鳥瞰地圖　三一一
日本アルプス登山案內　一〇〇
日本アルプスと土實村　一〇〇
日本アルプスと秩父巡禮　一〇〇
日本アルプスの研究　一〇〇
日本行脚文集　四二・五〇・一〇四
日本案內記　一〇〇
日本醫學會東京市案內圖　三〇八
日本一鑑　三一
日本一周旅行　三一
日本印象記　一〇〇
日本沿革　一〇〇
日本遠征記（鈴木周作抄譯）　三一・一七九
日本遠征記（土屋雄喬・玉城肇譯）　一〇〇
日本を見る　一〇〇
日本及隣邦圖　三〇八
日本海周遊記　一〇〇
日本海に於ける造船の發達　二五四
日本海文化展覽會目錄　一七
日本鹿子　三一
日本から日本へ　二四
日本河渠志　五六・七九
日本氣候地誌　三一
日本北アルプス湖沼の研究　九九
日本北アルプス登山案內　一〇〇・一七九
日本紀遊　一〇〇・一七九
日本九峰修行日記　一〇〇
日本疆域險要　三一・一七九
日本鄉土學　一〇〇
日本近事記　一七九
日本群島地質構造論概梗　五六
日本經濟地理講話　一〇〇
日本遣歐使者記　二四・二七四
日本考　三一・五一
日本鑛泉誌　一〇〇
日本考略　三一・一七九
日本國號考　六三
日本國志　一七・三一
日本國誌資料叢書　三一
日本國史地圖　二九四
日本國史地理　二九四
日本國勢總攬　二九四
日本國勢大觀　三一
日本國名風土記　三一
日本國花萬葉記　三一
日本古版地圖集成　三一
日本固有工業に就いての地理學的若干の考察　二九四
日本山海名產圖會　一〇
日本山海名物圖會　三一・三二・五九
日本山嶽志　三一・五九
日本山岳順禮　五六
日本山水論　五六
日本山表說　五六・一七九
日本志　二七
日本汐路之記　五九
日本史蹟　五九
日本史蹟集覽　五九
日本史蹟大系　五九
日本支那朝鮮國圖　三一八
日本州名起原　三九
日本周遊記　五〇
日本衆落の特性　六
日本商業地誌　三一
日本商業地理（飯島和一）　三一
日本商業地理（池本純吉）　三一
日本商業地理（原袋威雄）　三一
日本商業地理教科書　三一
日本商工地理　三一
日本商品地理　三一
日本諸國名解　三一
日本新地理　三一
日本人の閑却してゐたアラビヤ地方　二六一
日本人の注意すべき支那交際上の習慣　二四六
日本人の斧鉞を待つ邊疆と墨西哥　二六五
日本人の用ひた航海用旱鍼盤　二五四
日本人の用ひた航海用旱鍼盤について　三一・三二・五九
日本人文地理綱要　五六
日本水土考　五六
日本水路誌　五六・一七九
日本圖會全集　二七
日本性氣錄　五五
日本政治地理　五九
日本政治地理一斑　五九
日本全國鐵道圖　五九
日本先住民族史　三八
日本全圖（宮本三平）　三九
日本全圖　五〇
日本惣國風土記　六
日本總國風土記抄　三一
日本總論　三一
日本その日その日　三一
日本大地圖（木崎龍尾）　三一
日本大地圖（三省堂）　三一
日本探檢　三一
日本地學辭書　三一
日本地形概說　三一
日本地形誌　三一
日本地質構造論概梗　五六
日本地誌要略　三一
日本中國考　三一
日本庭園史圖鑑　三一
日本帝國政治地理（山上萬次郎）　三一
日本帝國政治地理（矢澤昌永）　三一
日本帝國全圖　二九五
日本等溫線及び等偏差溫線に就きて　九
日本道中記　五〇
日本讀史地圖　二九五
日本登山要覽　五六
日本都市大觀　三一
日本都制と藤原京　一三一
日本內海紀伊水道及豐後水道（水路誌）　五五
日本內地村落の地域特徵　六
日本內地の內灣の沿岸漁獲物による標式　五
日本に於ける鄉土研究と鄉土敎育　一五
日本に於ける聚落の高距限度　八
日本に於ける聚落の高距限度補遺　八・九
日本に於ける人口密度・出生率の地理的分布に就いて　一一
日本に於ける地塊の急性的・慢性的傾動　一一
日本に於ける地理敎育の現狀　一五
日本の漁業の自然的人文的制約に就て　一〇
日本の現勢　三五
日本の港灣　三五
日本の湖沼の地方湖沼學的展望　七・五六
日本の古代人文地理研究に

日本山海名產圖會　三一・三二・五九
日本山海名物圖會　三二・五九
日本山嶽志　五六
日本山岳順禮　五三
日本山水論　五六
日本山表說　五六・一七九
日本志　二七
日本汐路之記　五九
日本史蹟　五九
日本史蹟集覽　五九
日本史蹟大系　五九
日本支那朝鮮國圖　三一八
日本州名起原　三九
日本周遊記　五〇
日本衆落の特性　六
日本商業地誌　三一
日本商業地理（飯島和一）　三一
日本商業地理（池本純吉）　三一
日本商業地理（原袋威雄）　三一
日本商業地理敎科書　三一
日本商工地理　三一
日本商品地理　三一
日本諸國名解　三一
日本新地理　三一
日本人の閑却してゐたアラビヤ地方　二六一
日本人の注意すべき支那交際上の習慣　二四六
日本人の斧鉞を待つ邊疆と墨西哥　二六五
日本人の用ひた航海用旱鍼盤　二五四
日本人の用ひた航海用旱鍼盤について　三一・三二・五九
日本人文地理綱要　五六
日本水土考　五六
日本水路誌　五六・一七九
日本圖會全集　二七
日本性氣錄　五五
日本政治地理　五九
日本政治地理一斑　五九
日本全國鐵道圖　五九
日本全圖（宮本三平）　三九
日本全圖　五〇
日本惣國風土記　六
日本總國風土記抄　三一
日本總論　三一
日本その日その日　三一
日本大地圖（木崎龍尾）　三一
日本大地圖（三省堂）　三一
日本探檢　三一
日本地學辭書　三一
日本地形概說　三一
日本地形誌　三一
日本地質構造論概梗　五六
日本地誌要略　三一
日本地誌略物產辨　三一
日本地圖（勝田孫彌）　三一
日本地圖（三省堂）　三一
日本地圖帖　三一
日本地名索引　二七
日本地名全辭書　三九
日本地名大辭典　三八
日本中地理　三一
日本地理（喜田貞吉・幸田成友）　三一
日本地理（中學講習會）　三一
日本地理（普通敎育學會）　三一
日本地理（石川弘・梅林寺勝三）　三一
日本地理（西脇又作）　三一
日本地理（山上萬次郎）　三一
日本地理（矢津昌永）　三一
日本地理（前橋孝義）　三一
日本地理學史（村松繁樹）　六・一四
日本地理學史（藤田元春）　一四
日本地理學史稿　一四
日本地理敎材辭典　八
日本地理講義　三一
日本地理志料　三一
日本地理新書　三一
日本地理精說　三一
日本地理大系　三一
日本地理風俗大系（改訂版）　三一
日本地理要略　三一
日本通中國考　三一
日本庭園史圖鑑　三一
日本帝國政治地理（山上萬次郎）　三一
日本帝國政治地理（矢澤昌永）　三一

就いて　四
日本の新發展地南米事情　二八六
日本の水力・石炭・石油　七
日本の旅　三五
日本の地形　五六
日本の朝鮮　一六三
日本の地理的概觀　一
日本の塚穴　一
日本の十和田湖と青森の山水　六七
日本の南洋群島　二七〇
日本の滿洲開發　二四五
日本の水　五六
日本之名勝　五九
日本の歷史地理　八・三五
日本橋　九〇
日本橋（一萬分一地形圖）　三〇六
日本橋北內神田邊繪圖　三〇四
日本橋紀念誌　九〇
日本橋區（東京切繪圖）　三〇六
日本橋區史　九〇
日本橋區史參考書帖　三〇八
日本橋區全圖　三〇七
日本橋志　九〇
日本橋南京橋八丁堀靈岸島邊繪圖　三〇四
日本橋南芝口橋迄八町堀靈岸島築地邊繪圖　三〇四
日本橋より京橋靈岸島永代橋迄（江戸邸宅圖）　三〇五
日本八景　四
日本氷河時代に關する問題と其の研究法　五九
日本略記　五六・五七
日本歷史及地理要覽　七
日本歷史地名字引　五六・五七
日本歷史地理　五七
日本歷史地理之研究　五七
日本歷代遷都考　五五・五七
二萬分一地形圖　三五
入越記　三五
入河五川編　三五
入關紀程　五六
ニューギニア事情　三一・三八
入峽記　二九六
丹生郡誌　七三
入高紀程　五七
入江五川編　五五
牛西蘭島紀略　五五
入笠日本僧金剛三昧傳考　九六
入蜀記　五九
入蜀紀見　五七
入蜀記詳解　五九
入蜀記註釋　五九
入藏程站　三五
入長沙記　二九五
入滇江路考　一九〇
入滇陸程考　三六
乳洞遊記　一一〇
入都日記　一一〇
入明記卷初事文集記　一一〇
入明諸要例　二四
丹生村（五萬分一地形圖）　三〇・三六
入緬路程　三八
入露記　三八
入淮五川編　七・三六
韮崎（五萬分一地形圖）　三六
寧古塔紀略　一七一・二三四・二三九・二四〇・二五二
任參判丙子日本日記　二九五
忍耐岬及海豹島（海圖）　二四
沼垂町圖（承應）　一七五
沼垂圖（永和）　二四
沼宮內（五萬分一地形圖）　二四
沼津（五萬分一地形圖）　二四
沼津市誌　二四
沼津町（五萬分一地形圖）　二四
沼田（五萬分一地形圖）　二九六・二九九
ヌタクカムウシュペ山（五萬分一地形圖）　一七
ヌタクカムウシュペ山（五萬分一地形圖）　一七
ネ
寧安額穆及敦化地方圖　三五
寧安縣事情　二五六
寧遠州志　二四二
寧夏省考察記　二四八
寧化風俗志　三七
寧藏七十九族番民考　一七
寧波府志　二四
根雨（五萬分一地形圖）　二九七
根尾村（五萬分一地形圖）　二九七
根岸谷中日暮里豐島邊圖（念珠關所の變遷）　三四
熱河（北條太洋）　七二
熱河（關野貞・竹島卓一）　二四〇
熱河遺蹟　二四〇
熱河源記　二四〇
熱河志　一五・二四〇
熱河小記　二四〇
熱河省事情　一七・二四〇
熱河探檢記　二四〇
熱河日記　二四〇
熱河ノ地理　二五・一六〇・二四〇
熱河文獻展覽會陳列目錄　二四〇
熱河蒙古地方ニ關スル調査　二四九
熱河遊記　一八
熱帶地における煙草の栽培法　一三三
熱帶地方に於ける栽植農業　八
根羽（五萬分一地形圖）　二九七
歸負郡要覽　一〇三
根室（二十萬分一帝國圖）　三〇一
根室（百萬分一輿地圖）　三〇一
根室港（海圖）　三〇一

根本村（二萬分一地形圖）　二九五
尼布楚考　一七一・二五八
尼布楚城考　二三四・二三七・二五八
燃藜室記述　一五八・一六〇
燃藜室記述續集　一五八・一六〇
燃藜室記述別集　一五八・一六〇
ノ
農安・扶餘・齊々哈爾方面　二四六
農業經濟地理　二・三六
農業地理學（伊藤兆司）　三
農業地理學（西龜正夫）　三
農業の地域性　七
濃州徇行記　二二
濃州瑞龍寺山之圖　三二
濃州關ヶ原戰場圖　三二
濃州關ヶ原戰場之圖　三二
能州名跡志　一〇三
農村計畫としての俟里制　八
農村工業化の經濟地理學的可能性　三
農村工業地理　三
農村の戶口と土地との關係の一面　九
濃尾平野に於ける人口の密度　八
濃飛兩國通史　一一〇
農民蜂起與謝噺（ノカンヤマブキ）　一三三
野花南（五萬分一地形圖）　二九六
簀遁（ノキヤマブキ）金棣棠　七二
鋸崎（五萬分一地形圖）　二九五
野さらし紀行　四六・五〇
野さらし紀行翠園抄　五〇
野澤（五萬分一地形圖）　二九六
野島（五萬分一地形圖）　二九六
野尻村（二萬分一地形圖）　二九五
能代（五萬分一地形圖）　二九五
野田（陸中）（五萬分一地形圖）　二九六
野田（下總）（五萬分一地形圖）　二九六
野田町（下總）（二萬分一地形圖）　二九五
野谷新村（二萬分一地形圖）　二九六
納紗布日誌　一五〇
能登國志徵　一〇三
能登國名跡志　三〇・一〇三
能登半島　一〇三
能登半島の人口地理學的考察　九
能登半島の民家　八
登戶（ノト）村（下總）（二萬分一地形圖）　二九五
延岡（五萬分一地形圖）　二九六
延岡（輯製二十萬分一圖）　三〇〇
延岡（二十萬分一帝國圖）　三〇一
延岡（二十萬分一地形圖）　二九三・二九四
延岡大觀　一四六
野邊地（五萬分一地形圖）　二九六
野邊地（輯製二十萬分一圖）　三〇〇
野邊地（二十萬分一帝國圖）　三〇一
登戶（ノボリト）村（武藏）（二萬分一地形圖）　二九六

榛原郡誌　二三
慶滯事件　一四
陪游笠置山記　一四三
俳遊記　一〇三
海拉爾事情　一〇三
パインアップル　一〇三
パインアップル事業に關する諸講演　一〇三
博多物語　三三
破閑集　一四一
萩（五萬分一地形圖）　一五六
萩古實末定之覺　一五六
萩原（五萬分一地形圖）　一五六
羽咋郡誌　三
白雲觀志　一四三
白雲觀遊記　一四三
白雲日記　一四三
白河（海圖）　一四三
白嶽記遊　一四三
白嶽黃山旅行記　一四三
白嶽遊記　一四三
月齋簸記（考訂）　三三四・三三七・三四八
白沙屯（五萬分一地形圖）　二九六
白山（五萬分一地形圖）　二九六
白山黑水錄　二九七
白山駒込邊之繪圖　二九七
莫愁湖遊記　三〇四
白石道人歌曲疏證　一五
白石道人年譜　二四八・二四八
白象の國へ　二四八
白鳥陵決定勘註　二六八
白馬紀行　四六・五〇
白馬岳（田邊和雄）　四六・五〇
白馬嶽（長野縣北安曇郡教育會）　四三
白馬嶽（五萬分一地形圖）　五〇
白馬嶽及立山近傍圖　二四〇
白馬嶽登山案內　三三
幕府時代の長崎　一四一
葉栗郡紀要　一五五
白纓遊記　一八〇・二六七
巴縣志　二四
函館（輯製二十萬分一圖）　二五
函館（二十萬分一帝國圖）　三〇〇
函館紀行　三〇一
函館鄉土史料目錄　一〇一
函館區史　一〇一
函館港全圖　一〇一
函館市誌　四三
函館の史蹟と名勝　三一
函館繁昌記　一〇一
箱根　一〇一
箱根熱海溫泉道案內　九三
箱根溫泉案內　六三・九三・一一三
箱根七湯志　六三・九三
箱根七湯菜　六三・九三
箱根底倉高山園內外の遺蹟　九三
箱根探勝眼福畫帖　九三
箱根山　九三
馬鞍島考察談　四三
梅園句集　四三
梅園竈頭渚遊記　四三
梅園日記　四三
梅櫻日記　四三
俳諧白根嶽　四三
俳諧裾野集　四三
陪駕日記　四三
佩衡詩鈔　四三
墓頌山記　四三
拜師氏意見　四三
拜島村（二萬分一地形圖）　四三
俳聖芭蕉全集紀行篇　四三
梅村山水記　四三
ハイチ共和國事情　四三
梅坡詩抄　四三

箱根山地圖　三〇三
階上丘（五萬分一地形圖）　二九六
端郡風土記　三〇・一〇一
羽島（五萬分一地形圖）　二九六
芭蕉行脚物語　二九五
芭蕉紀行　二九五
芭蕉紀行・日記集　二九五
芭蕉全集紀行集　二九五
芭蕉全集紀行日記集　二九五
巴蜀　二一四
巴蜀旅程談　一九〇
橋立の秋　一三三
橋場墓地之圖　三〇八
はしわのわか葉　六八・七一
幡豆郡實測圖　三一
はすのくき　六八
長谷村誌　一三七
巴船紀程　一七
秦野（五萬分一地形圖）　二九六
馬丹島漂流記　一五七・一六八・六〇
八域誌　二九六・二九九
八王子（五萬分一地形圖）　二九六・二九九
八王子驛（二萬分一地形圖）　二九五
八王子繁昌誌　八二
鉢形北條家臣分限錄　八〇
八丈島（五萬分一地形圖）　二九九
八丈島（輯製二十萬分一圖）　三〇〇
八丈島（二十萬分一帝國圖）　三〇一
八丈筆記　一五五・一六八
八戸（ハチノヘ）（五萬分一地形圖）　九一・一三
八戸（輯製二十萬分一圖）　三〇三
八戸（二十萬分一帝國圖）　二九六
八戸紀行　三〇一
八排風土記　二九七
八幡神社考　三九
八幡町（近江）（五萬分一地形圖）　二七
八海山（五萬分一地形圖）　二九六・二九九
八紘荒史　二八
八甲田山（五萬分一地形圖）　二九六
八紘通誌　二七四
八江萩名所圖畫　一三八
八紘譯史　二一・二五四・三五五
伯國アマゾナス州日本植民地地域劃定竝植民計劃に關する調査報告書　二八六
伯國ミナス・ジェラェス州事情　二八六
伯國聯邦及州立植民地ノ概要　二八六
服部鄉圖考聞書　一三五
八方岳（五萬分一地形圖）　二九八
馬島海口及長直路（海圖）　三一七
花つみ日記　二八一
花のいではぢ　七〇
花のしぬのめ　七一
花の眞寒泉　二七五
巴奈馬運河開鑿計畫ノ沿革　二八四
巴奈馬運河之開通に就て　二八五
花巻（五萬分一地形圖）　二九六
巴奈馬共和國事情　二八五
はなみの記　三〇〇
塙（五萬分一地形圖）　三〇一
花輪（五萬分一地形圖）　六八
塙口陵決定勘註　一七八
塙科郡誌　三九
塙生郡開見漫錄　二七
塙生町（二萬分一地形圖）　二七
羽田誌稿　二七
母島北部（五萬分一地形圖）　二九六
母島（輯製二十萬分一圖）　二七四
母島（二十萬分一帝國圖）　二九六
柞山峯之嵐　一三八
土生（五萬分一地形圖）　二七
馬武窟（五萬分一地形圖）　二七
羽幌（五萬分一地形圖）　二七
羽幌（二十萬分一帝國圖）　二七
濱坂（五萬分一地形圖）　二七
濱崎（五萬分一地形圖）　二七
濱田（羽後）（五萬分一地形圖）　二九五
濱田（石見）（五萬分一地形圖）　二九六
濱田（二十萬分一地形圖）　二七
濱田（輯製二十萬分一圖）　二七
濱田（二十萬分一帝國圖）　二七
濱町誌　七
濱畔（五萬分一地形圖）　七一
濱益（五萬分一地形圖）　七一
濱名湖附近の農業地理的考察　二七
濱のさざ波　二七
濱名郡誌　二七
濱の松風　二七
濱のまつ葉　五七・九〇
濱松市史　一三
濱松高原圖（パミル）　三八
帕米爾轄略（パミル）　三四・三五・三六〇
帕米爾圖敘例　二六〇
帕米爾圖說　三四・三五・三六〇
帕米爾圖洋文地名摘要表　三五〇
哈密志（ハミ）　二五・三一
哈密（ハミ）漂流記　二六
早來（ハヤキタ）（五萬分一地形圖）　二九六
林田（二萬分一地形圖）　二九六
林村（二萬分一地形圖）　二九六
早田（五萬分一地形圖）　二九七
早池峰山（五萬分一地形圖）　二九六
速見郡史　一四五
速見郡志　一四五
パラウ漂流記　二六・六八
腹赤村鄉土誌　一四四
パラグアイ共和國事情　二八六
婆羅洲志　二八六
原城紀事　一四三
原町（磐城）（五萬分一地形圖）　二九六
原町（肥後）（五萬分一地形圖）　二九六
原町田村（二萬分一地形圖）　二九五
巴里　二七五
巴里繪日記　二七五
巴里雀　二七六
巴里の横顏　二七六
播磨　六五
播磨國細見圖　三三
播磨國風土記　三九
播磨國風土記新考　三九
播磨萬寶智惠袋に就て　三六・三九
播磨風土記　三九
播磨風土記（栗田寬註）　三九
播磨風土記物語　三九
播磨文化資料　三九
播磨名所巡覽圖繪　三九
播磨巡覽記　三九
針生（五萬分一地形圖）　二九六・二九九
巴林紀程　二四八
バルカン（世界地理風俗大系）　一九・二七四
バルカン諸國（改訂版世界地理風俗大系）　二〇・二七四
バルカン旅行　二七四
榛名山（五萬分一地形圖）　二九七・二九九
春の紅葉　八四
春の旅　五〇
哈爾濱調査記　一八九
バレスタインの近情　二六一
哈倫阿爾山（ハロンアルシャン）　二四〇
布哇　二七一
ハワイ印象記　二七一
布哇事情　二七一
布哇紹介寫眞帖　二七一
島哇島一周　二七一
ハワイ島地圖及カウイ島地圖　二七一
布哇渡航案內　二七一
布哇日記　二七一

布哇年鑑　二七一
泛穎記　一七六
阪急沿線案內　二三九
板橋雜記　二三九
帶鄉風物記　六八
番境補遺　一五五・一六八
番禺雜記　三一〇
蠻語　三三一
槃見山記　七八
萬國見聞錄　二七
萬國奇觀　二七
萬國奇談　二八
瀋國見聞錄　一〇三
萬國航海圖　二九〇
萬國公法　三一九
萬國商業地誌略　二九〇
萬國商業地圖　一三
萬國商業地理書　二九〇
萬國小地理書　二九〇
萬國新圖　二
萬國新地理　二五五
萬國新話　二九〇
萬國全圖　一八
萬國地理（山上萬次郎）　二
萬國地理（中學講習會）　二
萬國地理（前橋孝義）　二
萬國地理指要　二
萬國地理新書　二
萬國港繁昌記　二七四
萬國名所圖會　二
萬國夢物語　二七
萬國輿地全圖　二九
盤山紀遊　一七六
盤山縣事情　二三九
蠻司合志　六八
番社采風圖考　一五五
番社采風圖摘略　一七・一五五
播州人米國漂流始末　二五・二八四
汎舟錄　二一四
蠻書　三一〇・三六七
泛瀟湘記　一七六
泛樂錄　一七
蕃人事情　一五五
番人打破船　三六
泮水餘波　三一
萬世江戸町鑑　三一
萬生園遊記　二九〇
萬世泰平圖記　一三
バンダイ（五萬分一地形圖）　二九〇
磐梯山（五萬分一地形圖）　二九〇
泛大通橋記　二
半田町（五萬分一地形圖）　二五五
番町繪圖（尾張屋清七板）　二九〇
番町繪圖（近吾堂板）　一八
番町大繪圖　二
肥後國志　二
肥後國志略　二九〇
肥後史談　二
番町邊糀町四谷御門內まで（江戸邸宅圖）　二
泛通河記　二七四
半島と人文　二
半島めぐり　二七
飯能村（二萬分一地形圖）　二九
泛百門泉記　一八七
蕃風と古城　二四二
鄱陽記　二一〇
萬里の長城　一五五・一七八

ヒ

美瑛（ピエイ）（五萬分一地形圖）　一七六
ビーグル號航海記　一七六
日向國史　一七七
日向國史拔書　一五五
燧嶽（五萬分一地形圖）　二六
披雲山記　三五
飛雲洞記（許元仲）　九〇
飛雲洞記（彭而述）　一八七
比叡山（二十萬分一地形圖）　二五五
東支那海海洋誌　一六九
東筑摩郡誌　一七六
東朝鮮　五九
東礪波郡案內　二一四
東礪波郡全圖　一八三
東土耳其考略　二一七
東ボスポラス海峽（海圖）　二一四
東松浦郡史　二九八
東村山郡史　一〇七
東村山村一覽　二四六
東牟婁郡誌　二三三
東蒙古　二四六
東蒙古一覽圖　三八・二四〇・三一〇・三二一
東蒙古形勢考　二四〇
東蒙古現勢概見略圖　一七三
東蒙古全圖　一五五
東蒙古の眞相　三一〇・三二一
東八代郡誌　三八・二四〇
東山梨郡誌　一〇七
氷上郡誌　一四七
飛行場の位置について　七一
美國記　一五五・一七八
美國史略　一八〇
美國地志　三〇
肥後國志　一四四
肥後國志略　一四四
肥後史談　六六
彦藏漂流記　一四四
彦根山由來記　二五
彦根町（五萬分一地形圖）　二五
肥後の歷史地誌參考資料陣列目錄　一四四
尾參遠鄉土史論　一五五
尾三市町村新圖　三一
備讚瀨戸潮流圖　三七
尾參寶鑑　一五五
眇川下流に於ける侵蝕面に就いて　四
日島（五萬分一地形圖）　二九八
比治眞奈井考　一三三
美洲各小國紀畧　一八・二八一
飛州軍亂記　一一〇
飛州志　一一〇
尾州長久手戰場之圖　三一
美酒花彫記　一八九
ビスカイノ金銀島探檢報告　四〇
日詰（五萬分一地形圖）　二九六
備前岡山七英士讚話　一三五
備前軍記　一三五
備前長崎行日記　五〇
肥前長崎圖　三一四
備前國赤坂郡高月鄉牟佐村高藏神社杵舞記　一三六
備前國御領地村々御救御仕方之義に付御內慮御問答書　一三六
肥前國風土記　一四二
肥前國風土記（荒木田久老校點）　三六・四二
肥前國風土記新考　一四二
肥前國豐後國風土記考證　一四二・一四五

肥前風土記　一四二
肥前風土記猪熊本に就いて　一四二
備前文明亂記　一三五
肥前平野の條里　九
備前名所記　一三五
備前略史　一三五
備前渡部數馬仇撃記　一三五
飛驒案内　一一〇
飛驒遺乘合府　一三五
日高見國の研究　六六
日田郡志　一四五
飛驒國中案内　一一〇
斐太後風土記　三〇・三一・一一〇
飛驒山脈に於ける氷河作用に就て　一一
常陸太田（五萬分一地形圖）　二九六・二九九
常陸大宮（五萬分一地形圖）　二九六・二九九
常陸帶　四七・七五
常陸紀行　四六・七六
常陸國郡鄉考　七六
常陸國誌　七六
常陸多賀郡史　七六
常陸國風土記　七六
常陸風土記（西野宣明校註）　三六・七六
常陸風土記（栗田寬註）　七六
常陸風土記物語　七六
常陸風土記の研究　七六
檜木笠　五
日野郡史　九
備之中州名所　一一〇
批判地理學　一一〇
日比原（五萬分一地形圖）　一一〇
比布（五萬分一地形圖）　一一〇
碑衾町誌　七
ヒマラヤ山探險　一三六
ヒマラヤ探査行　一三五
ヒマラヤに挑戰して　一三五
姫路（二萬分一地形圖）　一三五
姫路（五萬分一地形圖）　一三五
姫路（輯製二十萬分一圖）　一三五
姫路（二十萬分一帝國圖）　一三五
姫路誌　一三五
姫路城案内　一三六
姫路千代田町貝塚　一三六・一三七
姫島（五萬分一地形圖）　一三五
姫島考（小串仙助）　六
姫島考（小川正宣）　二九六
姫路名勝誌　五五
碑文谷（二萬分一地形圖）　九〇
碑文谷誌　二九六
百姓一揆錄　百富士　二九六
百萬分一東亞輿地圖　七二
漂海錄　二三
漂客東察加出奔記　二九九
漂客壽三郎手簡　一一〇
漂客談奇　二六
漂客談話　二六
氷河と萬年雪の山　二七
氷河に關する研究　一一
氷河の話　六
氷河果して本邦に存在せざりしか　一一
氷期に關する論爭　一一
苗防備覽　二三四・二三〇
苗防論　一七八
漂民紀事　二六・一七七
苗民考　一七八
漂民御覽記　二六・一七七
漂民送還に就ての上書　一三五
氷洋事蹟逃略　一八〇・一八九
漂流記（濱田彦藏）　二六・一三五
漂流記（吉備人）　二六・一三五
漂流紀事　一七八
漂流奇談全集　一三六
漂流口書　一三六
漂流說話　一七八
漂流臺灣チヨプラン嶋之記　二六・一三五
漂流談　二六
漂流譚雜筆　一三五
漂流日記　二六
漂流ばなし　一三五
漂流萬次郎歸朝談　一三四
備陽六郡志　一三七
平泉舊蹟志　六八
平泉雜記　六八
平泉志　六八
平泉史蹟研究　六七
平泉名勝誌　六八
飛來峰記　一三五
ヒラ穩溫泉之栞　六三・一八
枚方（二萬分一地形圖）　二九六

比良加の美多可開けゆく滿洲　七一
平島（五萬分一地形圖）　二〇
平戸（二十萬分一地形圖）　二九三・二九四
平戸島近海（海圖）　三一六
平沼（五萬分一地形圖）　二九六
平野鄉町誌　二八
平野村誌　二八
菲律賓（鄉民）　一〇九
比律賓（正木吉右衛門）　二八
比律賓紀行　二八
比律賓群島　二八六
比律賓群島事情　二八六
比律賓群島に於ける鳳梨事業　二八六
比律賓群島の水產資源　二三三
比律賓事情　二三三
比律賓大觀　二八六
比律賓ダバオ州に於ける邦人產業調查報告　二八六
比律賓の現狀（臺灣總督官房調查課）　二三三
比律賓の現狀（商工省商務局）　二八六
比律賓篇（南洋叢書）　二七七
毘陵諸山記　一七三
Pili Reis の地圖と Columbus の地圖　九
緬甸紀略　一七・二八六
緬甸考略　一七九・二八六
緬甸瑣記　一七九・二八六
緬甸志　一七・二八六
緬甸國說　二八六
緬甸鳥瞰　二八六
緬甸風土詩　二八六
緬甸來　二八六
緬甸旅行茶話　二八六
廣尾（五萬分一地形圖）　一七四
廣尾（二十萬分一帝國圖）　一七四
廣尾山莊の記　二三三
弘前（五萬分一地形圖）　二八六
弘前（輯製二十萬分一圖）　二八六
弘前（二十萬分一帝國圖）　二八六
弘前市實地明細繪圖　二八六
弘前市全圖　二八六
廣澤記　二三三
廣重甲州道中記　四三
廣島（五萬分一地形圖）　二九七
廣島（二十萬分一地形圖）　二九三・二九四
廣島（輯製二十萬分一圖）　三〇〇
廣嶋（二十萬分一帝國圖）　三〇一
廣島縣案内記　二三七
廣島縣管内全圖　三三三
廣嶋縣精圖　三三四
廣島縣帝釋臺カルストの特色　四
貧乏留學生の日記　二四
關遊紀略　一七八
關遊日記　九
檳榔嶼遊記　一八〇・二八六
武夷紀勝　一七四
武夷紀遊圖詠　二三四・二三〇
武夷雜記　一七四
武夷山名勝圖繪　二三〇
武夷山遊記　一七四
フイツセル參府紀行　四〇
武夷導遊記　一七四
武夷遊記（林霍）　三〇一
武夷遊記（陳朝儼）　公五
武夷遊記（吳拭）　二八六
富貴角（五萬分一地形圖）　三〇〇
風景形態としての都市　三〇一
風景人物酣詠　三〇一
風景の驚異　三〇二
風俗問狀（丹後峯山領）　三〇三
風俗問狀答（羽後秋田領）　三〇三
風致地區概要　七・七・一五〇
風土　一〇
風土記　一七四
風土雜錄　一七四
風土日本の研究基準　一〇四
風流使者記　一〇四・一〇八
笛吹（五萬分一地形圖）　二九八

廣島縣地理　二三四
廣島縣雙三郡誌　二五六・一七八
廣島市の發達と其の人文現象の地域的考察　一一
廣島趨舍日錄　三〇一
廣島獨案内　三〇八
廣島みやげ　三〇八
廣田村開發竝に西光寺開創由緒　三〇七
ビロビヂヤン要覽　三〇八
廣根（五萬分一地形圖）　三〇八
ひろめかり　三〇四
琵琶湖產魚の商圈に就いて　三〇一
琵琶湖生產地理研究　公五
琵琶湖附近の地形と其の地體構造につきて　三〇〇
日和佐（五萬分一地形圖）　三〇〇
日和佐（二十萬分一地形圖）　三〇一
東成郡一圓之圖　四三
閩江（海圖）　一〇四
閩江諸水編　二九七
閩行日記　一七四
備後古城記　三〇〇
備後史談　三〇一
備後叢書　三〇一
閩雜記　三七
閩小紀　三三
閩省瑣記　三三
閩部疏　三一四
樒海圖經　三三
浮海前記　二五六・一七八
深井地質第一回報告　一一
深井地質第二回報告　一一
深浦（五萬分一地形圖）　二九六
深浦（二十萬分一帝國圖）　三〇一
深川（五萬分一地形圖）　二九六
深川（二萬分一地形圖）　三〇六
深川區全圖　三〇七
深川區（東京切繪圖）　三〇六
深川區史　九〇
深川之內小名木川ヨリ南之方一圓（江戶切繪圖）　三〇四
深川八幡洲崎邊より佃島迄（江戶邸宅圖）　三〇五
深川幕地之圖　三〇八
富嶽百景　九六
富嶽游草　九六
鰹沈む　三一〇
深谷（武藏）（五萬分一地形圖）　二九六・二九九
深谷驛（武藏）（二萬分一地形圖）　二九五
深谷上杉系圖　八〇
深谷記　八〇
深谷古來鑑　八〇
深谷村（伊勢）（二萬分一地形圖）　二九五
武乾記　七九
武漢三鎭游記　二一四
赴漢日程　一八八
武漢名勝略誌　一八八

吹流天竺物語　二六・二六六
府郷御江戸繪圖　三〇九
福井(五萬分一地形圖)　二九七
福井(二十萬分一地形圖)　二九三
福井案内記　一〇四
福井縣大飯郡誌　一〇四
福井縣大野郡誌　一〇四
福井縣郷土讀本　一〇四
福井縣坂井郡誌　一〇四
福井縣史　一〇四
福井縣史附圖　三一
福井縣南條郡誌　一〇四
福井縣吉田郡誌　一〇四
吹浦(五萬分一地形圖)　二九六
福江(五萬分一地形圖)　二九六
福江(二十萬分一地形圖)　二九三・二九四
福江(二十萬分一帝國圖)　三〇〇
福翁世界國づくし　一九
福岡(五萬分一地形圖)　二九六
福岡(二十萬分一地形圖)　二九三・二九四
福岡縣管内全圖　三一四
福岡縣管内地理大掛圖說明書　一〇四
福岡縣史資料　一〇四
福岡縣叢誌　一〇四
福岡縣地誌　一〇四
福岡縣立圖書館鄉土志料目錄　一〇四
福岡縣立圖書館主催管内鄉土文獻展覽會出品目錄　一〇四
福岡市大觀　一〇四
伏牛洞記　一七五
福島(五萬分一地形圖)　二九六
福島(輯製二十萬分一)　三〇〇
福島(二十萬分一地形圖)　二九三・二九四
福島(二十萬分一帝國圖)　三〇一
福島縣案内　七三・七四
福島縣郡村誌　七四
福島縣詳密地圖　七四
福島縣全圖　三〇三
福島縣町村沿革便覽　七四
福島縣著名案内　七四
福島縣通史　七四
福島縣名勝舊蹟誌　七四
福島縣名勝舊蹟抄　七四
福島城相傳　七三
福嶋名勝誌　七四
伏戎紀事　二四六
福州攷　三三
福知山盆地の地理學的考察　四
福知山町(五萬分一地形圖)　二九七
福山(五萬分一地形圖)　二九七
福山年鑑(都市問題研究所)　三七
福山年鑑(日本市政研究所)　一〇六
武具要說　一〇六
福渡(五萬分一地形圖)　二九七
鳳至(フゲシ)郡誌(明治四四)　一〇三
鳳至郡誌(大正一二)　一〇三
分間江戸大繪圖(享保一三)　三〇九
分間江戸大繪圖(明和八)　三〇九
分間江戸大繪圖(天保二)　一四一
分間江戸大繪圖(嘉永四)　一七五
分間御江戸繪圖(文政年間)　二九六
府縣及北海道境域沿革一覽　三〇〇
府縣國郡變更一覽表　三〇一
富源の南洋　七三・七四
負劍錄　七四
武江地動之記　三〇三
武江年表　三〇三
武江年表補正略　三〇三
武江披抄　七四
房川渡中田關所の研究　七四
釜山鴨綠江間寫眞帖　七四
浮山紀勝　七四
釜山港及附近沿岸(海圖)　七三
釜山要覽　七四
富士(二十萬分一地形圖)　二四六
富士一覽記　二四六
藤岡町(二萬分一地形圖)　四
富士火山西南斜面の地誌學的研究　二九七
富士川下流々域の地形　八三・九三・九四
藤河の記　四四・四六・五一・一二七
武相の古代文化　八三・九三・九四
伏木河港平面圖　扶桑名勝詩集　五九
伏木河港平面圖(青寫眞)　扶桑名所狂歌集　五九
富士紀行　四四・四六・九七　扶桑名處名物集　五九
伏木港平面圖　四三・五一・七九　扶桑遊記
伏越鼻(五萬分一地形圖)　四四　扶桑錄(李石門)
富士御覽日記　四四　扶桑錄(南壺谷)
藤澤(相摸)(五萬分一地形圖)　四四・四六・九七　燕村全集紀行篇
藤澤村(二萬分一地形圖)　二九五
富士山(五萬分一地形圖)　二九七・二九九
富士山(日本地理大系)　三五・九七
不二山(小島烏水)　九七
富士三十六景　九七
富士山絕頂圖　九七
富士山ヒ豐ずる鄉土志料展覽會陳列目錄　一一
富士山麓と御嶽　九七
富士史　九七
藤田君の貴山城及び盬氏城考を讀む　一五四
藤田君の宋代市舶司及び市舶條例に就いて　一五四
富士と足柄　九三・九七
富士登山紀稿　九七
富士日記　一〇五
富士の地理と地質　九七
不二の麓　二九
不二のますかた　九七
富士百景　九七
富士見道記　四六・九七
伏見桃山　一三三
富士脈温泉案内　六三・九七
武州安行案内　八〇
武州古改江戸之圖　三〇九
府州廳縣異名鑑　一七〇
武州豐嶋郡江戸庄圖　三〇七・三〇九
豐州油布院之内大堺四方指圖　一四五
不受不施講門派事件不受派　一件　一三六
武將感狀記　一〇五
武昌滄桑記　四四・九七
富士歷覽記　二九六・二九九
藤原(五萬分一地形圖)　三一
藤原京研究　三一
藤原京再考　三一
藤原京時代の藝術　三一
藤原京時代の文化　三一
藤原京と太宰府都城　三一
藤原京に關する論文抄　三一
婦人の眼に映じたる世界の新潮流　二四
撫綏西藏記　一七一・三三
豐前國志　一四五
豐前志　一四五
豐前中津景勝志　一四五
扶桑記勝　五九
武相郷土史論　八三・九三
扶桑京華志　三一
武相考古　八三・九三・九四
扶桑名勝詩集　五九
扶桑名所狂歌集　五九
扶桑名處名物集　五九
扶桑遊記　四三・五一・七九
扶桑錄(李石門)　四一
扶桑錄(南壺谷)　四一
燕村全集紀行篇　五一
普陀紀勝　三一
普陀紀遊　一九〇
二子村(二萬分一地形圖)　二九五
普陀山遊記　一八八
再び淺間火山の活動に就てふたゝび浦上がたの蓮見に行ける時の記　四三
再び大宛國の貴山城に就いて　二五四
再び韃靼漂流記に就て　二五・三三九
二見錨地(海圖)　三一七
二見村(二萬分一地形圖)　二六六
普陀名勝誌　一八八
普陀遊記(天風)　一九〇
普陀遊記(林甕宇)　二一四
普陀洛迦山傳　四三
二人づれ　八三
府中(備後)(五萬分一地形圖)　二九七
普通地理　三六
佛教傳來に關する魏略の本文につきて　一一
服忌令　三六
福建厦門　二五三
福建黄檗山　二五三
福建考略　一七〇
福建鼓山　一九三
福建省事情　二三
福建省全誌　二六九
福建省全圖　三一〇
福建雪峰　一九三
福建通志(同治版)　三三
福建福州　一八八・一八九
福建遊記　一八八
復興　一二
佛國記　二五三
佛國考證　二六六
佛國人の佛國　一〇
佛國に於ける住所研究の細目　三六八
佛國目南の新領土　二六三
佛蹟巡禮行　二五一
佛說十力經經記　二五四
佛徒の印像につきて　一九〇
佛目山遊記　二五一
佛遊天竺記考釋　二六八
佛領印度支那(南條文雄)　二六八
佛領印度支那(太平洋協會)　二三三
佛領印度支那金融事情　二六八
佛領印度支那事情(松木幹一郎)　二六八
佛領印度支那事情(川田信衛)　二六八
佛領印度支那統治要覽　二三三
佛領印度支那篇(南洋叢書)　二六七
佛領植民地の關稅政策　二三三
佛領ニュー・カレドニア事情　二七〇
拂菻新聞　二三
筆拍子　一六九
武當山記　一六九
武當山遊記　三一〇
武當仙(五萬分一地形圖)　二九七
浦菊峠(五萬分一地形圖)　二九三
武當福地總眞集　三一三
風土記(物集高見校註)　一九三
風土記(植松安校註竝和譯)　三六
風土記書目提要　二九五
風土記(尾張國)　四五
風土記研究(倉野憲司)　二六三
風土記研究(武田祐吉)　二七六
風土記殘篇　二七六
風土記集　二五五
風土記の研究　三六八
ふところ硯　二五一
布特哈志　二五四
船井郡誌　一九〇
船長日記　二五一
船形村(二萬分一地形圖)　二六八
船川(五萬分一地形圖)　二六八
船川灣(海圖)　二三三
船木(五萬分一地形圖)　二三三
船路のゆきゝ　二六八
船田亂記　二六八
船津(飛驒)(五萬分一地形圖)　二三三
船津(紀伊)(五萬分一地形圖)　二六七
船戸(五萬分一地形圖)　二三三
扶南考　二三三
扶南土俗　二七〇
文月の記　二七七
芙蓉嶂諸山記　二三六
扶餘縣事情　一七四
夫餘考　一九〇
ブラーシュ人文地理學　二九六
伯剌西爾(拓務省拓務局)　二六七
ブラジル移住案内　二六七
伯剌西爾事情(田付七太)　二六七
ブラジル事情(有吉明)　二六七
伯剌西爾年鑑　二六七
ブラジル物語　二六七
富良野(フラノ)(五萬分一地形圖)　三六
フランス(世界地理風俗大系)　一九・二七六
フランス(改訂版世界地理風俗大系)　二〇・二七六
佛蘭西印象記　二七六
佛郎察國王ボロウルボン氏世系　二七七
佛蘭西時報　二六一
佛郎西志譯略　一七・二六六
法蘭西屬國紀略　一七・二一
佛蘭西地理學界の展望　七
佛蘭西旅行者の群　二四九
フランスに於ける滿洲研究　二七五
佛蘭西旅行者の群　二四九
ブリヤート蒙古自治共和國現勢　二五九
武陵記　二四四
富良江源流考　一七六
武林舊事　二一四
武林十日遊記　一八八
古川(陸前)(五萬分一地形圖)　二六六
古川(飛驒)(五萬分一地形圖)　二七三
古川反古　二七七
古川古松軒百二十年祭記念展觀目錄　三七
古川正雄の洋行漫筆　二四
古き支那・新しき支那　一八三
古鄉歸の江戸咄(フルピラ)　九
古平(五萬分一地形圖)　二九九
古山日記　一〇五
布禮(五萬分一地形圖)　二九八
不老長生　一八三
不老長生の支那　一七
浮浪民と棄落、所謂特殊部落の成立　六
ブロック經濟地理　二
ブロック・ダイヤグラムの描き方　八
不破郡史　一一〇
文化階梯と經濟階梯　七・二三
文化癸酉邊報　二七
文化圖の外殼の研究(牧場―特に甲斐の馬牧につきて)　九
文化甲子年撰風土記書　七三
文化戊寅英機聚舶繫泊記　二七
分疆錄　二二四
文獻撮錄　二五八
豐後大野川流域に於ける人口分布の一型式　九
豐後温泉誌　六三・一四五
豐後紀行　四七・五〇
豐後清原系圖　一四四
豐後國志　一四五

豐後古蹟名寄　一四五
豐後志　一四五
豐後諸氏系圖　一四四
豐後諸侍系圖　一四四
豐後跡考　一四五
豐後國大分郡阿南莊四方指　一四五
豐後國古城蹟並海陸路程　一四五
豐後國圖田帳　一四四
豐後國鶴見原一戰之事　一四四
豐後國風土記　一四五
豐後國風土記新考　一四四
豐後の由布村　一四五
豐後八郡見稻簿　一四五
豐後風土記　一四五
汝上縣志　一〇一
文政十亥年見聞書付　一〇四
文政神異記　一一九
分道江戸大繪圖（寶曆六）　三〇九
開老遺事　六八
文祿年中厚見郡檢地帳　一一〇

へ

平安紀行　四六・五一
平安京變遷史　三三・三三
平安故實錄　一三三
平安城東西南北町並洛外之圖（萬治元）　三一三
平安城並洛外之圖（延寶六）　三一三
平安北道史　一六三
丙寅引附　六八
丙寅紀行　九七
平鹽寺過去帳　一〇六
米歐回覽實記　二七四・二八四
米國及米國人　二八四
米國研究　二八四
米國國民性の新研究　二八四
米國視察談　二八四
米國對外投資の地理的分布　八
米國通覽　二八四
米國の研究　二八四
米國民　二八四
米國旅行案內　一五六
平山堂記　二〇〇
丙子日記　二七七
平城紀聞　三一
平城宮阯調査報告　三一・三二三
平城宮大內裏跡坪割之圖　三一三
平城京及大內裏考　一六三
平壤誌　一五九・一六二
平城坊目考　三三
平城坊目遺考　三三
丙辰紀行　四六・五一
平泉寺史要　一〇四
ベーター・シュミットの經濟地理學概論に就て　九
平臺灣生番論　五八・七八
平地及び臺地　七
封山陵圖　六一
奉使安南水程日記　二六八
奉使俄羅斯行程錄　二三八・二四六
奉使俄羅斯行程錄（考訂）　二三四・二三八・二三七・二七八
奉使俄羅斯日記　一七二・二三八
奉使紀勝　一七七
方志考稿　八四
奉使小錄　一〇四
奉使日本紀行　二四
房州見物　八二
房住山昔物語　七四
豐州誌　四四
豐州戶次鶴ヶ城合戰之覺　四四
豐州亂記　四四
牟珠洞記　一七五
北條（播磨）（二萬分一地形圖）　二九六
北條（播磨）（五萬分一地形圖）　二九七
北條（安房）（五萬分一地形圖）　二九六
鳳城瑣錄　二四七
北條分限帳郡村略考　八三・九四
北條村（二萬分一地形圖）　二六八
邦人活躍の南洋　二九七
邦人の發展地ブラジル　一九一
法政概　一七二
坊勢島（五萬分一地形圖）　一七七
房總紀要　一五四
房總雜記　二四二
房總志料　二七七
房總志料續篇　一〇一
房總志料圖書目錄　六六
房總靜養地案內　一〇一
房總叢書　一〇一
房總と水鄉　九六
房總之半島　一〇一
房總半島西岸漁村の水產地理學的の研究　一〇二
房總半島東南部に於ける傾斜地塊に就きて　一七六
房總文庫　二四
房總游乘　八二
房總遊覽誌　七〇
訪蘇泉記　一四五
豐太閤征韓實記　一四四
鳳臺祇謁筆記　一七五
豐筑亂記　二七四
封長白山記　六六
訪顚錄　一七一
奉天一覽　一四六
奉天形勢　一七一
奉天事情　八八・九四
奉天省黑山縣事情　二五五
奉天省台安縣事情　二五八
奉天省盤山縣事情　二七七
奉天省本溪縣事情　一七七
奉天昭陵圖譜　一七七
奉天と遼陽　二七七
奉天遊記　八一
奉天錄　二四一
法道和尙傳考　二五六
卯峒記　一七五
朋黨士禍の檢討　一六〇
邦內鄉村志　六八
邦內貢賦記　六八
封內風土記　六九
邦品を阻む南洋諸國の貿易關稅政策　二五七
坊保町之圖解　一三四
方輿紀要　一八三
方輿紀要簡覽　一七〇・一八三
方輿諸山考　一七五
蓬萊園記　八二
鳳來峽の山水　二五五
蓬萊軒地理學叢書　一七六
波蘭（雜誌）　二五五・二五五
ポーランド（世界地理風俗大系）　二八一
ポーランド（改訂版世界地理風俗大系）　一九・一七四
波蘭事情　二八一
波羅的等路疆域考　二三四・二三七・二八一
ポーランドの案內　二八一
寶立山（五萬分一地形圖）　二九七
訪鄰紀程　一九一
放浪八年記　一七四
放浪漫記　二四二
捕影問答　一七七
慕夏堂集　二四一
補閑集　一九八
北裔備攷　二七七
北越奇談　一〇一
北越七奇　六六
北越雪譜　一〇一
北越雪譜索引　一〇一
北越太平記　九六
北越鐵道名勝案內　一〇一
北越略風土記　一〇一
北轅錄（戴熙元）　一七八
北轅錄（周煇）　二〇二
北歐諸國（世界地理風俗大系）　一九・一七四
北歐諸國（改訂版世界地理風俗大系）　一九・一七四
北歐諸國事情　二七四
北歐旅日記　二七四
北奧地名考　六六
北奧路程記　一七・二四一
卜魁紀略　二四六
卜魁城賦　一七一
卜魁風土記　一八七
北嶽恆山紀遊　一七二
北嶽中嶽論　一七二
北嶽辨　一七四
北鄙紀遊　一七八
北歸志　二三四・二三七・二五九
北徼沿革表　二三四・二三七
北徼界碑考　二三四・二三八・二三七・二四一
北徼喀倫考

坊（五萬分一地形圖）　二九八
邦域大略　三六
寶永二年引渡目錄　一〇六
法王緣起　一九一
鳳凰山記　一七三
防海形勢考　一七八
望海每談　九五
彭佳嶼（五萬分一地形圖）　二九九
彭佳嶼（二十萬分一帝國圖）　三〇三
寶篋印陀羅尼傳來記　二五六
方形墳に關する二三の考察　二五九
鳳陽　二三三
鳳陽見聞圖說　二四四
鳳陽見聞錄　二四四
防江形勢考　一七五
放光寺古今緣起全　一七五
放光寺古今緣起の地理的及經濟的考察　一七〇
澎湖紀略　一五六・一七八
法國志略　一七
寶庫スマトラの全貌　二五九
寶庫西伯利　二六八
彭湖廳志　二五九
彭湖島（二十萬分一帝國圖）　三〇三
彭湖列島（海圖）　三一六
方山記　一七三
茅山記　一七三
寶山紀遊　一七七
鳳山縣誌　一五四
茅山志　二四二
茅山遊記　八七
封山陵圖　六一
奉使安南水程日記　二六八
奉使俄羅斯行程錄　二三八・二四六
奉使俄羅斯行程錄（考訂）　二三四・二三八・二三七・二七八
奉使俄羅斯日記　一七二・二三八
奉使紀勝　一七七
方志考稿　八四
奉使小錄　一〇四
奉使日本紀行　二四
房州見物　八二
房住山昔物語　七四
豐州誌　四四
豐州戶次鶴ヶ城合戰之覺　四四
豐州亂記　四四
牟珠洞記　一七五
北條（播磨）（二萬分一地形圖）　二九六
北條（播磨）（五萬分一地形圖）　二九七
北條（安房）（五萬分一地形圖）　二九六
鳳城瑣錄　二四七
北條分限帳郡村略考　八三・九四
北條村（二萬分一地形圖）　二六八
邦人活躍の南洋　二九七
邦人の發展地ブラジル　一九一
法政概　一七二
坊勢島（五萬分一地形圖）　一七七
房總紀要　一五四
房總雜記　二四二
法道和尙傳考　二五六
卯峒記　一七五
朋黨士禍の檢討　一六〇
邦內鄉村志　六八
邦內貢賦記　六八
封內風土記　六九
邦品を阻む南洋諸國の貿易關稅政策　二五七
坊保町之圖解　一三四
方輿紀要　一八三
方輿紀要簡覽　一七〇・一八三
方輿諸山考　一七五
蓬萊園記　八二
鳳來峽の山水　二五五
蓬萊軒地理學叢書　一七六
波蘭（雜誌）　二五五・二五五
ポーランド（世界地理風俗大系）　二八一
ポーランド（改訂版世界地理風俗大系）　一九・一七四
波蘭事情　二八一
波羅的等路疆域考　二三四・二三七・二八一
ポーランドの案內　二八一
寶立山（五萬分一地形圖）　二九七
訪鄰紀程　一九一
放浪八年記　一七四
放浪漫記　二四二
捕影問答　一七七
慕夏堂集　二四一
補閑集　一九八
北裔備攷　二七七
北越奇談　一〇一
北越七奇　六六
北越雪譜　一〇一
北越雪譜索引　一〇一
北越太平記　九六
北越鐵道名勝案內　一〇一
北越略風土記　一〇一
北轅錄（戴熙元）　一七八
北轅錄（周煇）　二〇二
北歐諸國（世界地理風俗大系）　一九・一七四
北歐諸國（改訂版世界地理風俗大系）　一九・一七四
北歐諸國事情　二七四
北歐旅日記　二七四
北奧地名考　六六
北奧路程記　一七・二四一
卜魁紀略　二四六
卜魁城賦　一七一
卜魁風土記　一八七
北嶽恆山紀遊　一七二
北嶽中嶽論　一七二
北嶽辨　一七四
北鄙紀遊　一七八
北歸志　二三四・二三七・二五九
北徼沿革表　二三四・二三七
北徼界碑考　二三四・二三八・二三七・二四一
北徼喀倫考　一七三・二三四・二三八・二三七・二四一
舳倉島（五萬分一地形圖）　二九七
邊塚（五萬分一地形圖）　二九八
戶次系圖　一四四
別飛（二十萬分一帝國圖）　三〇一
別府溫泉誌　一四五
別府市誌　一四五
ベナレス市の寺院區　一〇
ベネスエラ　二八七
ベヨネイス列岩（五萬分一地形圖）　二九九
ベヨネイス列島（二十萬分一帝國圖）　三〇一
ベラホ物語　二六
ベルギー（改訂版世界地理風俗大系）　一九・一七三
ベルギー（世界地理風俗大系）　二八七
ベルシヤ視察談　二六一
ベルシヤ事情　二六一
ベルシヤ之旅　二六一
波斯より土耳古まで　二六一
波斯・メソポタミヤ方面視察談　二六一
ベルシヤ旅行談　二六一
波斯灣の東洋貿易港に就いて　二五四・二六一
ベルシヤ灣より地中海へ　二五二
比利時志畧略　一七・二八一
傳路芝考略　一八〇・二六一
歷舟川中流（五萬分一地形圖）　二九八
ベルリ提督日本遠征記（鈴木周作抄譯）　一四
ベルリ提督日本遠征記（土屋喬雄・玉城肇譯）　五〇
伯林夜話　二七六
別勒岑律安設戰記　二七七
邊疆叢書　二二五
邊紀略　二〇一
辨元史郭侃傳之虛像不足據　三五五
邊堠紀行　二三八
汴故宮記　二〇一
邊策私辨　二七七
編修地志備用典籍解題總目錄　三七
邊省苗變事宜論　一七八
汴水說　一七五
邊政考　二〇一・二五一
辨天島の菜　二三
編年西村山郡史　七二
邊防三事　一七七
邊要分界圖考　二四〇・二五九・二七七
汴梁遊記　一八九

北徼考門考　三四・三七
北徼形勢考　一七二・二四・三八・三七・二四一
北徼山脈考　一七四・二四・三八・三七
北徼事蹟表　三四・三七
北徼城垣考　一七二・二四・三七・五九
北徼條例考　三四・三七
北徼水道考　一七六・二四・三八・三七・五九
北徼星度考　三四・三七
北徼世次表　二四・三七
北徼地名異同表　二四・三七・五九
北徼頭目表　二四・三七
北徼方物考　一七二・二四・三七
北徼邑居考　二四・三七・五九
北寨記略　一五八・二四一
北槎聞略　二六・二七九
北槎略聞　二六・二七
朴子（五萬分一地形圖）　二九
北支案内　三一〇
北支及蒙疆地方産業地圖　三一〇
北支經濟地理　三一〇
北支港灣要覽　二〇一
北支五省經濟交通地理概要　二〇一
北支事情綜覽　二〇一
北支進出案内　二〇一
木耳古記　一七四
北支物情　二〇一
北洲及千島列島（海圖）　三一六
北洲及北東諸島（海圖）　三一七
陸州古蹟記　二一四
墨洲雜記　一八〇・二八三
北海道大勢一覽（小川忠之助）　一五一
北海道大勢一覽（北海タイムス社）　一五一
北海道地形圖　三一五
北海道千島樺太圖　三一五
北海道廳所藏舊記目錄　一五一
北海道地理　一五一
北海道通覽　一五一
北海道鐵道沿線案内　三一五
北海道鐵道沿線視察便覽圖　一五一
北海道十勝國勢一斑　一五一・一五三
北海道と樺太　三一五
北海道根室港圖　一五一
北海道の展望　三一五
北海道濱中灣圖　一五〇
北海道漫遊記　一五一
北海道名勝案内　一五一
北海道名所案内　一五一
北海道要覽（北海道博覽會協賛會）　一五一
北海道要覽（村尾元長）　一五一
北海道里程圖　一五一
北海道旅行案内（北海道廳）　一五一
北海道旅行案内（澤石太）　三一五
北海道旅行案内圖　三一五
北海道旅行地圖　三一五
北海道漂民見聞錄　二六・七七
北海遊記　一八七
北海游草　一五一
北幹考　一七四・二一八
北漢誌　一五八・一六二
北關誌　一六二
北還錄　二〇一
北極（ライト）　二八九
北極（改訂版世界地理風俗大系）　二〇・二八九
北極地方（世界地理風俗大系）　一九・二八九
北極に近きスピツベルゲン島　六・二八九
法顯傳（考證）　二五一
法顯佛國記地理攷證　二五一
北港（五萬分一地形圖）　二五一
北行日錄　三一五
北行日記（陳炳泰）　一五〇
北行日記（王錫祺）　一五一
北國一覽竟　一五一
最國及亞國事情　一五一
北國紀行　一五一
北國地理と和歌　一五一
北國旅行地圖　一五一
保德風土記　一五一
保原（五萬分一地形圖）　二九七
墓碑史蹟研究　三一五
穂別（五萬分一地形圖）　三〇六
浦陽江記　三一七
堀（五萬分一地形圖）　一八七
埔里（五萬分一地形圖）　一五一
堀河之水　三一三
埔寨社紀略　一五六・一六七
補梁疆域志　一六二
蒲領東阿弗利加事情（遞信省管船局）　二八九
蒲領東阿弗利加事情（外務省通商局）　二〇・二八九
ポルトガル（世界地理風俗大系）　一九・二八九
ポルトガル（改訂版世界地理風俗大系）　二〇・二八九
葡萄牙植民地事情　一七七
葡萄牙屬地紀略　一七七
葡萄牙開見錄　二五一
葡萄牙人澳門占據に至るまでの諸問題　一七七
ボロブヅウル（ボロブドゥル）　一七七
幌尻嶽（ポロシリ）（五萬分一地形圖）　一七七
幌武意（ホロベツ）（五萬分一地形圖）　七二・一〇一
幌筵島（ポロモシリ）（二十萬分一帝國圖）　二五五・二六七
本邦の逆デルタの研究　四
ボンボン山（五萬分一地形圖）　一五九・一六〇

マ

マーシャル・カロリン・マリアナ群島視察報告　二六九
前橋（二萬分一地形圖）　二九五
前橋（五萬分一地形圖）　二九六・二九九
前橋（二十萬分一地形圖）　二九三
前橋市案内　七九

北洲全岸（水路誌）　五五
北道遊簿　二〇一
北蕃地理　二〇一
北水洋洲及アラスカ沿海見聞錄　一八三
北清見聞錄　二〇一
北清大觀　二〇一
北清火消夏錄　九一
北陲日誌　一五一
北徼水道覽誌　八四・九〇
北徼水兩岸行　九一
北征記　二四六
北征後錄　二四六
北征日記　一七七
北西年鑑　二八四
北征錄（宋廣重恭）　一六二・二〇一
北征錄（金幼孜）　三六・二四六
北宋の對契丹防備と茶の利用　二四四
北戴河海濱志略　二四一
北戴河遊記　八七
北丹勝景集　一三三
牧畜　七
墨竹工卡記　七一・一三三
穆天子傳　一三五・三六
穆天子傳紀日干支表　二三五
穆天子傳考　二三六
穆天子傳西征講疏　二三六
穆天子傳地理攷證　三六・三五五
穆天子傳的研究　二三六
北投溫泉の栞　六三・一五六
北島志　一五一
北堂書鈔地部　一八五
北遊紀程　一七七
北遊紀略　一三五九
北遊草　一五八・二〇一
北輿要選　五二
北陲紀行　三六九
北虜風俗　一六九
黑子を掏る話　五一
母國見學記念誌　二六・二九九
鉢田（五萬分一地形圖）　一八三
補三國疆域志　一八三
補三國疆域志補注　二九六
星田村（二萬分一地形圖）　二七七
戊戌夢物語　六二
墓所之栞　七〇
戊辰秋田落戰記　七〇
戊辰鹿角口戰爭實記　七〇
戊辰東征日歷　五二
戊辰矢島戰記　七〇
戊辰若松城下明細圖　三〇二
戊辰奥羽戰記　六四
墓蹟　一七七
細島（五萬分一地形圖）　二九八
補陳疆域志　一八三
北海廻瀾錄　一五一
北海紀行　一五一
渤海考　一五八・二四一・二四三
渤海國記　二四一・二四九
渤海國志長編　二四一
渤海國の疆域　二四三
北海道厚岸港圖　三一四
北海道石狩川圖　三一四
北海道石狩國上川郡明細圖　三一四
北海道浦川灣圖　三一四
北海道沿海圖　三一四
北海道小樽港圖　三一四
北海道火山雜記　一〇
北海道・樺太（改訂版日本地理風俗大系）　三五・一五一・一五二
北海道・樺太篇（日本地理風俗大系）　三五・一五一・一五三
北海道・樺太篇（日本地理大系）　三五・一五一・一五三
北海道見聞錄　一五一
北海道國郡全圖　三一五
北海道最近事情　一五一
北海道志（開拓使）　一五一
北海道誌（佐藤昌介）　一五一
北海道史　一五一
北海道史稿　一五一
北海道實測切圖　三一五
北海道實測圖　三一五
北海道史に關する研究書概說　一五一
北海道寫眞帖　一五一
北海道殖民圖解　三一五
北海道人口の地理學的研究　四
北海道新室蘭港圖　三一五
北海道圖　三一五
北海道全圖（改正・内務省地理局）　三一四
北海道全圖　三一五
北海道全圖（金澤良太）　三一五
北海道石狩國上川郡明細圖　三一四
北海道浦川灣圖　三一四
北海道沿海圖　三一四
北海道小樽港圖　三一四
北海道火山雜記　一〇
北海道・樺太（改訂版日本地理風俗大系）　三五・一五一・一五二
北海道・樺太篇（日本地理風俗大系）　三五・一五一・一五三
北海道・樺太篇（日本地理大系）　三五・一五一・一五三
北海道見聞錄　一五一
北海道國郡全圖　三一五
北海道最近事情　一五一
北海道志（開拓使）　一五一
北海道誌（佐藤昌介）　一五一
北海道史　一五一
北海道史稿　一五一
北海道實測切圖　三一五
北海道實測圖　三一五
北海道史に關する研究書概說　一五一
北海道寫眞帖　一五一
北海道殖民圖解　三一五
北海道人口の地理學的研究　四
北海道新室蘭港圖　三一五
北海道圖　三一五
北海道全圖（改正・内務省地理局）　三一四
北海道全圖　三一五
北海道全圖（金澤良太）　三一五
青石の成因に就きて　一一
本邦市邑の地理的組織に關する一二の例　一一
本邦人口の向都的移動現象に於ける空間的制約に就いて　九
本邦地誌　三六
本邦地圖の發達　六四
本邦地理講義　三六
本邦地理綱要　三六
本邦地理詳說　三六
本邦田園村落の形態に關する一考察　八
本邦都市の人口地理學的考察　一〇
本邦都市の地理學的知見　六
本邦都城の制　一一七
本邦における風土心理學の發展過程に關する研究　一九
本邦に於けるラモント法則の適用について　四
本邦の逆デルタの研究　四
本邦火山噴出物中に在る菫

前橋市案内記　七九
前橋市記念地圖　三〇三
前橋風土記　三〇・七九
前原（マエバル）（五萬分一地形圖）　二九九
眞岡（五萬分一地形圖）　二九六・二九九
澳門記　一七八
澳門記略竝澳番編　三三・三六八
澳門形勢篇　一七八
澳門形勢論（張甄陶）　一七八
澳門形勢論（李受彤）　一七八
亞媽港紀略藁　二三
澳門圖說　一七八
眞壁（五萬分一地形圖）　二九六
眞壁町（二萬分一地形圖）　二九五
摩詰庵入日記　五一
まきのあきつゆ　六七・七一
牧の冬かれ　六七・七一
枕崎（五萬分一地形圖）　二九八
益田（五萬分一地形圖）　二九八
眞澄遊覽記　六八
マダガスカル島事情　二六八
股島　二七九
町の印象　六
街能嚀　一七
松江（五萬分一地形圖）　二九七
松江（輯製二十萬分一圖）　三〇〇
松江（二十萬分一帝國圖）　三〇一
松蔭の日記　一〇八
松ケ崎堀割圖（享保）　三〇九
松阪（二萬分一地形圖）　二九五
松阪町（五萬分一地形圖）　二九七
松島（五萬分一地形圖）　二九六
松島案內　二九九
松嶋往來　二九九
松島紀行（西野前知）　一七八
松島寫眞帖（宮城縣廳）　二三・二六八
松島寫眞帖（三澤書店）　一七八
松島圖誌（鼓岳子）　一七八
松島圖誌（櫻田周輔）　二三
松島大觀　一七八
松島日記（契沖）　二九六
松島日記　二九五
松代案內　五一
松代町史　六七・七一
松代藩勤王事略私記　六七・七一
松田總領（五萬分一地形圖）　二九九
松戸驛（二萬分一地形圖）　二九八
馬蝶（マツダイラ）（五萬分一地形圖）　二九八
松の下草　六八
松之山温泉（五萬分一地形圖）　二九七
松堡里山莊に遊ぶ記　四七・六八
松前江山より箱舘城下餉指　六
迄の圖　五五
松前志　二七七
松前人韃靼漂流記　二六
松前町の行商に就いて　九
松前島鄉帳　三〇・五一
松本（五萬分一地形圖）　二九七
松本市史　一〇九
まるこぼろ紀行　二五五
馬可波羅（マルコポロ）行紀　二五五
馬可波羅行紀沙海昂譯註正　二五一・二五五
誤　九一
丸の内片端昼敷ノ記　三一八
丸龍往來　二四二
丸龍紀行（牛井行藏）　二四二
丸龍寫眞帖（三澤書店）　二四二
丸龍圖誌（鼓岳子）　二四二
丸龍圖誌（櫻田周輔）　二四二
丸龍島大觀　二四二
丸龍島日記（契沖）　二四二
丸龍紀案內　二四二
丸龍町史　二四二
丸龍藩勤王事略私記　二四二
丸龍戸驛（二萬分一地形圖）　二四二
丸龍支一見　二四二
丸龍（世界地理風俗大系）　二四二
丸龍及南洋篇（日本地理大系）　二四二
丸龍寫集小考　二四二
丸龍關係資料集成　二四九
丸龍關係和漢書件名目錄　二四二
丸龍紀行　二四二
丸龍舊蹟志　二四二
丸龍グラフ　二四二
丸龍講演集　二四二
丸龍講座　二四二
丸龍彩描　二四二
丸龍事情　二四二
丸龍事情總覽　二四二
丸龍支那人名地名表　二四五・二四五
丸龍西比利地圖　二四二
丸龍紹介　二四六
丸龍新國家と我生命線　二四二
丸龍全書　二四二
丸龍叢書　二四二
丸龍探檢四十年　二四二
丸龍知識　二四二
丸龍調查復命書　二四二
丸龍鐵道圖　二四二
丸龍鐵道網と交通問題　二四二
丸龍道路網圖　二四二
丸龍と丸鐵　二四二
丸龍都邑全誌　二四二
丸龍に於ける林業の使命　二四二
丸龍年鑑　二四二
丸龍の開拓地域　二四二
丸龍の透視　二四二
丸龍の認識　二四二
丸龍之文化　二四二
丸龍パンフレツト　二四二
丸龍要覽　二四二
丸龍より何を期待すべきか　二四六
萬葉集名處圖分　二四二
萬葉集名處考　五九
萬葉集に於ける地名について　三九
萬葉集に見える藤原京　一三
萬葉地理研究叢書　一三九
萬葉地理考　三六
萬葉大和志考　一三
萬葉記譚　七六
萬遊記程　二四
萬遊見聞錄　二四
萬遊人國記　五一
萬遊隨錄　二四・八〇
萬遊文草　五一

ミ

三浦紀行　四七・九四
三厩（二十萬分一地形圖）　二九三・二九四
三重（五萬分一地形圖）　二九八
三重鄉土志　一二四
三重縣安濃郡誌　一九
三重縣案內　一九
三重縣史　一九
三重縣誌教案　一九
三重縣史料　一三三
三重縣全圖　一九
三重縣地誌　一九
三重縣名勝圖繪　一九
澪標　一二七
御神樂岳（五萬分一地形圖）　二六
御薗日記　一九
滿洲孝略　一七〇・二四一
滿洲國安東省輯安縣高句麗　二四二
遺跡　二四二
滿洲國を旅して　二四二
滿洲國概觀　二四二
滿洲國外蒙古旅行報告　三二九
滿洲國概覽　二四二
滿洲國各縣視察報告　二四二
滿洲國各縣事情　二四二
滿洲國經綸の精神　二四二
滿洲國現勢　二四二
滿洲國古蹟古物調查報告書　二四二
滿洲國詳細地圖　三三
滿洲國人名地名便覽　一八四・二三六
滿洲國水運　一九二
滿洲國地圖　二四二
滿洲國地方事情　二四二
滿洲國地名大辭典　二四二
滿洲國讀本　二四二
滿洲國都市大觀　三三・二四二
滿洲國に於ける食品に就て　二四五
滿洲國に於ける植物の分布　二四五
と農林業　二四五
滿洲國に於ける畜牛と綿羊　二四五
滿洲國に於ける熱河省の地　二四二
位に就いて　二四二
滿洲國の獨立と國際聯盟　二四五
滿洲國民屋地理　二四二
滿洲國有鐵道沿線及背後地　二四二
各縣概況　二四二
滿洲雜感　四五
滿洲産業建設學徒研究團報告　二四二
滿洲蠶絲業開發論　二四二
滿洲視察要覽　二四二
滿洲事情（山岡次郎）　二四二
滿洲事情（南滿洲中等教育研　二四二
究會）　二四二
滿洲實錄　二四二
滿洲辭典　二四二
滿洲支那關係圖書目錄　二四二
滿洲支那經濟地理　二五五
滿洲・支那・朝鮮　一八三・二四二
滿洲・支那の土地と人　四五
滿洲宗教の梗概　二四二
滿洲巡遊案內　九
滿洲初期の貿易と地理的環境　二四二
滿洲諸部の位置に就いて　三二
滿洲全圖（參謀本部）　三二
滿洲全圖（稻垣伸太郎）　二四二
滿洲地誌（參謀本部）　二四二
滿洲地誌（守田利遠）　二四二
滿洲地名辭典　二四四
滿洲地理歷史研究報告　二四二
滿洲通志　二四二
滿洲帝國（改訂版世界地理風　一九・二四三
俗大系）　二四三
滿洲帝國概覽　二四三
滿洲帝國總攬　二九四
滿洲鐵道綱　二四三
滿洲踏查記念寫眞帖　二四三
滿洲讀本　二四三
滿洲都城市沿革考　二四三
滿洲と朝鮮人　二四三
滿洲に於ける金の疆域　二四三
滿洲に於ける元の疆域　二四五
滿洲に於ける日本の地位　三八
滿洲に於ける藥用人參の生　二四七
産及取引　二四三
滿洲に於ける遊の疆域　二四九
滿洲に就て何を讀むべきか　二四三・二四六
滿洲農業移民の一形態　二四五
滿洲の開發に就て　二四三
滿洲の鐵產資源　二四五
滿洲の新興工業　三二
滿洲の探檢及鑛物資源地圖　二四三
滿洲の探檢と鑛業の歷史　二四三
滿洲の地域性　二四五
滿洲の畜產業の現勢　二四三
滿洲之地理歷史　四・二四三
滿洲の濁り水　二四三
滿洲の話　二四五
滿洲文化の發達　二四四
滿洲幣制の現在及將來　二四五
滿洲篇（學徒至誠會派遣團研　二四三
究報告）　二四三
滿洲北蕈地名辭音字彙　二四三
滿洲土產寫眞帖　二四三
滿洲名勝寫眞帖　二四四
滿洲要覽　二四三
滿蒙研究資料　二四三
滿蒙講座　二四三
滿蒙彩描　二七七
滿蒙事情　二四三
滿蒙事情總覽　二四三
滿蒙支那人名地名表　一八五・二四三
滿蒙西比利地圖　三三
滿蒙紹介　一八六
滿蒙新國家と我生命線　二四三
滿蒙全書　二四三
滿蒙叢書　二四三
滿蒙探檢四十年　二四四
滿蒙知識　一九二
滿蒙調查復命書　二四三
滿蒙鐵道圖　二四五
滿蒙鐵道網と交通問題　二四五
滿蒙道路網圖　二四五
滿蒙と滿鐵　二四五
滿蒙都邑全誌　二四五
滿蒙に於ける林業の使命　二四五
滿蒙年鑑　二四五
滿蒙の開拓地域　二四五
滿蒙の透視　二四五
滿蒙の認識　二四五
滿蒙之文化　二四五
滿蒙パンフレツト　二四五
滿蒙要覽　二四五
滿蒙より何を期待すべきか　二四六
萬葉集名處圖分　二四五

みかけのにき（異本）　一九
御薩參雜記　一九
三方郡誌　一〇四
神門（五萬分一地形圖）　二九八
美香弊乃譽路管　七〇
三瓶山（五萬分一地形圖）　二九七
三瓶山（二十萬分一地形圖）　二九三・二九四
三河　一五
參河志　一五
三河嶋（一萬分一地形圖）　三〇六
三河島町鄉土史　九一
三河雀　五七・一五
三河に於ける東海道の變遷に就て　一五
三河國全圖　三一
三河國二葉松　三七
三國港（海圖）　二九六
御國野村（二萬分一地形圖）　二九九
御藏島（五萬分一地形圖）　三〇〇
御倉島（輯製二十萬分一圖）　三〇〇
御藏島（二十萬分一帝國圖）　三〇一
御藏島概況　九一
ミクロネシアとミクロネシア人　一
神子元島（五萬分一地形圖）　二七
神子元島（輯製二十萬分一圖）　三〇〇
神子元島（二十萬分一帝國圖）　三〇三
みさき案内　九四
水澤町誌　六八
三島（五萬分一地形圖）　二七
見嶋（五萬分一地形圖）　二九八
見島（輯製二十萬分一圖）　三〇〇
見嶋（二十萬分一帝國圖）　三〇三
三島郡一圓之圖　三一
水海道（五萬分一地形圖）　二九六・二九九
水澤（五萬分一地形圖）　二九五
水鳥記　八四
水の富貴寄　三四
瑞穗（五萬分一地形圖）　二九八
三角（五萬分一地形圖）　二九八
三田（五萬分一地形圖）　三〇六
三田（二萬分一地形圖）　二九八
三田井（五萬分一地形圖）　四六・三四
見た京物語　一〇六
御嶽山神文　二九七
御嶽探勝案内　一〇七
三田尻（五萬分一地形圖）　二九八
三田寺町より芝海手迄（江戸邸宅圖）　三〇五
道芝の露　四七・七五
みちのくの記　四三
道行ぶり（加茂眞淵）　四三
道ゆきぶり（今川貞世）　四三・二七・三三
三津（五萬分一地形圖）　二九七
三日市（五萬分一地形圖）　二九七
三日二山遊記　七九
三日の大和路　二九七
三津濱（五萬分一地形圖）　二九八
三日町（五萬分一地形圖）　三〇〇
見附町（五萬分一地形圖）　三〇三
三星軍傳記　三一
三峯（五萬分一地形圖）　二九六・二九九
三峰山案内　二九五
三峯山詣　二九六
水戸（五萬分一地形圖）　八四
水戸（二十萬分一地形圖）　三四
水戸（輯製二十萬分一圖）　二九八
水戸（二十萬分一帝國圖）　二九八
水戸城　三七
みとものかず　二九七
三刀谷田邊記　三〇六
水口（五萬分一地形圖）　二九八
皆月村彌三兵衛異國へ漂着の次第口書　一〇六
水無瀨・山崎附近　一〇七
湊（五萬分一地形圖）　二九九
港の盛衰　二九八
ミナハサ事情　一〇二
水俣（五萬分一地形圖）　二九七
南會津郡案内誌　二九六
南會津の谷盆地耕作景　四四
南安曇郡誌　四三
南足立郡誌　一〇九
南足立郡千住町・北豐島郡南千住町全圖　一〇九
南アメリカ（世界地理風俗大系）　一九・二六七
南アメリカ（改訂版世界地理）　二〇・二六七
南アメリカ洲全圖　二九
南亞米利加地誌　二六七
南硫黃島（五萬分一地形圖）　二九九
南硫黃島（輯製二十萬分一帝國圖）　三〇〇
南硫黃島（二十萬分一帝國圖）　三〇一
南伊豆地域に於ける特殊栽培景の地理學的分析　四四
南伊那郡農村誌　一〇九
南葛飾郡龜戸町・大島町全圖　三〇七
南葛飾郡砂村全圖　三〇七
南葛飾郡隅田村・寺島村・吾嬬村全圖　三〇七
南葛城郡誌　三一
南樺太　一五三
南河内郡一圓之圖　三一
南紀州名所　三三
南桑田郡誌　三四
南ザバイカルの地形と土壤　二五九
南支那　三三
南支那沿岸航路ニ就テ　三三
南支那及南洋情報　三三四・七一
南支那及南洋調査　三三
南支那海の彩帆隊　三一・三三
南支那漁業試驗報告　三三
南支那事情大要　三三
南支那の開港場　三三
南支那佛領印度支那漁業試驗報告　三三
南多摩郡史　八三
南多摩郡勢一斑　八三
南天竺婆羅門僧正碑　二五五
南のたび　二五八
南半球五萬哩　二四
南本所大川より横川邊まで（江戸邸宅圖）　三〇五
南本所竪川邊之地圖　三〇四
南本所横川より御材木藏まで（江戸邸宅圖）　三〇五
南本所羅漢寺より中川まで（江戸邸宅圖）　三〇五
南滿洲鐵道沿線寫眞帖　二四七
南滿洲鐵道株式會社大連圖書館和漢圖書分類目錄　二四九
南滿洲鐵道旅行案内　二四七
南牟婁郡誌　一一九
ミヌシンスキー地方の地貌學的概說　二五九
見沼通船疲瑞探索竝當時風聞取調書　八〇
見沼用水圖　三〇四
見ぬ世の友　六二
峰・峠・氷河　二七四
峯山古事記　三三
美濃奇觀　一一〇
美濃雜事紀　一一〇
美濃誌　一一〇
美濃路記行（兎菴）　四六・一一〇

美濃路紀行（完頑）　五一
蓑島（五萬分一地形圖）　二九八
美濃叢書　一一〇
美濃之内郡村假名附帳　一一一
美濃國二ツ木庄地理考　一一一
美濃國名所和歌　一一七
美濃道記　一一〇
美濃飛騨郡界變遷及街道圖　一一〇
身延（五萬分一地形圖）　二九七・二九九
身延道の記　四八・九七
美濃・三河・攝津・信濃各國之内郡村假名附帳　一一四
美濃明細記　二一〇・二一一
箕輪記　一〇八
三原めぐり　一三七
壬生（下野）（五萬分一地形圖）　二九六・二九九
壬生（安藝）（五萬分一地形圖）　二九七
御船（五萬分一地形圖）　二九八
壬生町（下野）（二萬分一地形圖）　二九五
美保川上流（五萬分一地形圖）　二九六
美保關（五萬分一地形圖）　二九七
美作鏡抄　三五
美作誌　三五
美作國古城合戰記　三五
美作蠻鑑　三五
美作風土略　三五
美作略史　三五
任那加耶考　三五
任那考　一三三
美々津（五萬分一地形圖）　二九八
宮川日記　四七・一二九
宮川夜話草　一二九
宮城郡誌　七〇
宮城縣管内全圖　三〇三
宮城縣鑛泉誌　七〇
宮城縣誌　七〇
宮崎縣史蹟調査　一四八
宮城縣史談　七〇
宮城縣全圖　三〇三
宮崎縣地誌　一四八
宮城縣通史　七〇
三宅島（輯製二十萬分一圖）　三〇〇
三宅島（二十萬分一帝國圖）　三〇一
三宅島西部（五萬分一地形圖）　二九六
三宅島の話　二九
宮古（五萬分一地形圖）　二九六
都花月名所　三一
宮古紀行　六八
都紀行　四三
都細見之圖　三三
宮古島（二十萬分一帝國圖）　三〇三
宮古島（百萬分一輿地圖）　三〇三
宮古島鄉土誌　一四八
都縱橫町小名　一二四
都仁志喜　五二
都城（五萬分一地形圖）　二九八
都のつと　四三・四六・五一
都の手ふり　九二
都のてぶり考證　九二
都名所畫譜　一二四
都名所車　三一
都名所圖會　五九・一二・一二四
都林泉名勝圖會　九二・一二四
都繁昌記　一一四
宮古由來記　六八
宮崎（五萬分一地形圖）　二九八
宮崎（輯製二十萬分一圖）　三〇〇
宮崎（二十萬分一帝國圖）　三〇一
宮崎縣管内地圖　一四八
宮地（五萬分一地形圖）　二九六
宮下（五萬分一地形圖）　二九七
宮津（五萬分一地形圖）　二九八
宮津（輯製二十萬分一圖）　三〇〇
宮津（二十萬分一帝國圖）　三〇一
宮津事蹟記　二九
宮津城古事記　二九六
宮津騷動夢物語　三三
宮津日記　四三
宮津灣及近海（海圖）　三三
宮津灣附近に於ける漁業の地域性　五
宮津灣附近の地學的意義　四
明代の滿洲　二四七
明代遼東の邊牆　二四三
明北徼圖說　二五五
明人の日本地理　二五五
向島岩子島鄉土史　一三七
向鶴　六七
向町（五萬分一地形圖）　二九六
夢鶴軒棋澤詩鈔　二四八
昔の龍田川と今の龍田川とについて　一三〇
鵡川（五萬分一地形圖）　六八
無功德　六八
夢月軒詩鈔　二四八
向島（一萬分一地形圖）　三〇六
鞆島（輯製二十萬分一圖）　三〇〇
鞆島（二十萬分一帝國圖）　三〇一
武庫附近聚落の變遷　一〇
武藏　八三
武藏國府名蹟誌　八三
武藏七黨系圖　八三
武藏誌料　八三
武藏志料　八三
武藏田園簿　三〇七
武藏豐島郡峽田領荏土楓川鎧之渡古跡考　三〇五
武藏野　六五
武藏野及其周圍　八三
武藏野及其有史以前　八三
武藏國繪圖（正保）　三〇七
武藏國江戸庄鎧渡圖　九一
武藏國郡鄉庄領志　八三
武藏國郡鄉帳　八〇
武藏國四十四座社道法命附　九一
武藏國隅田川考　八〇

武藏國隅田川名所繪圖　九一
武藏國竝東京古今沿革圖識　三〇四
武藏國風土記　八三
武藏國名勝圖會多摩郡之部　八三
武藏國輿地全圖　三〇四
武藏野巡禮　八三
むさし野の紀行（北條氏康）　四三・四六・八三
武藏野紀行（北條氏康）　四三・四六・八三
武藏野紀行（横井也有）　八三
武藏野の艸と人　八三
武藏野の計畫的開拓の一例　五
武藏野の屋敷林　八三
武藏野略圖　三〇四
武藏野歷史地理　八三
武藏保谷村鄉土資料　八三
無錫金匱縣志　二一五
無人嶋小笠原嶋大小八十余山之圖　三〇四
無人島談話　二六
無人嶋漂着物語　二六・六八
無錢探檢拾萬哩　二五五
陸奥千鳥　六六
陸奥出羽國郡行程全圖　三〇三
六ツ美村誌　一二五
村岡（五萬分一地形圖）　二九七
村上（五萬分一地形圖）　二九六
村上（二十萬分一地形圖）　二九三・二九四
村上（輯製二十萬分一圖）　三〇〇・三〇一
村上（二十萬分一帝國圖）　三〇一
村上鄉土史　一〇一
村上家傳　一〇八
紫野澤庵和尙鎌倉之記　九二
政治學的研究　六七
明治初・中葉の滿洲文獻　二四九
明治初年に於ける小學校教科としての地理學の位置　一〇
明治大正大阪市史　三
明治大帝御巡幸謹記　一〇七
明治東京全圖（明治九）　三〇七
明治二十七年三月阿蘇の噴出に就て　一二
明治二十七年四月淺間山噴出記事　一八〇・二八三
明治年間朝鮮關係文獻抄錄　一五八
明治文化全集皇室篇　一七
名勝雜記　二一五
名所今歌集　二六
名所圖會解說　七・八〇
名所と俳句　六〇
名所と和歌　六〇
名所葉書目錄　三七・八〇
名所便覽　六〇
名所方角抄　六〇
名所都鳥　一三
名所旅行案內　六〇
名所和歌補翼抄　六〇
名蹟詩史　五二
名蹟巡錫記　三七
名物浪花のながめ　一〇八
名物六帖　二八五
名府墓所一覽　一二五
明和雜記　一二七
メードウニー島海獸棲息地々圖　三一・三六
メキシコ（古谷久綱）　二八五
メキシコ（文明協會）　二八五
メキシコ（吉山基德）　二八五
メキシコ（世界地理風俗大系）　一九・二八三
メキシコ（改訂版世界地理風俗大系）　二〇・二八三
墨西哥記　一八〇・二八五
墨西哥事情　二八五
墨西哥視察の結論　二八五
墨西哥逃略　一八・二八五
墨西哥探檢實記　二八五
墨西哥探檢報告　二八五
メキシコ旅行談　二五一
美利堅屬地紀略　一八・二一
棉花嶼（五萬分一地形圖）　二九九
棉花綿布に關する古代支那人の知識　二五四
綿事逃略　一七九・二八八
綿逃　二八八
綿漥新紀　一七九・二八八
明治以降の日本の人口再分布に就て　一五
明治行幸年表　五二
村上家傳　一〇八
紫野澤庵和尙鎌倉之記　九二
政治學的研究　六七
明治初・中葉の滿洲文獻　二四九
明治初年に於ける小學校教科としての地理學の位置　一〇
明治大正大阪市史　三
明治大帝御巡幸謹記　一〇七
明治東京全圖（明治九）　三〇七
明治二十七年三月阿蘇の噴出に就て　一二
明治二十七年四月淺間山噴出記事　一八〇・二八三
明治年間朝鮮關係文獻抄錄　一五八
明治文化全集皇室篇　一七
名勝雜記　二一五
名所今歌集　二六
名所圖會解說　七・八〇
名所と俳句　六〇
名所と和歌　六〇
名所葉書目錄　三七・八〇
名所便覽　六〇
名所方角抄　六〇
名所都鳥　一三
名所旅行案內　六〇
名所和歌補翼抄　六〇
名蹟詩史　五二
名蹟巡錫記　三七
名物浪花のながめ　一〇八
名物六帖　二八五
名府墓所一覽　一二五
明和雜記　一二七
メードウニー島海獸棲息地々圖　三一・三六
メキシコ（古谷久綱）　二八五
メキシコ（文明協會）　二八五
メキシコ（吉山基德）　二八五
メキシコ（世界地理風俗大系）　一九・二八三
メキシコ（改訂版世界地理風俗大系）　二〇・二八三
墨西哥記　一八〇・二八五
墨西哥事情　二八五
墨西哥視察の結論　二八五
墨西哥逃略　一八・二八五
墨西哥探檢實記　二八五
墨西哥探檢報告　二八五
メキシコ旅行談　二五一
美利堅屬地紀略　一八・二一
棉花嶼（五萬分一地形圖）　二九九
棉花綿布に關する古代支那人の知識　二五四
綿事逃略　一七九・二八八
綿逃　二八八
綿漥新紀　一七九・二八八
明治以降の日本の人口再分布に就て　一五
明治行幸年表　五二

メ

名家紀行集　五一
名家紀行文選　五三
名橋巡ぐり　五九
明月編　二五
名山勝槩記　一九一
名山勝水　五三
名山遊記　九七

モ

茂々久岐繭　二八六・二九〇
茂岩（モヂヤ）（五萬分一地形圖）　二九八
摸鳥兒獄中上書　三七
毛越寺沿革　六七
蒙韃讀本　三八
蒙韃の自然と文化　一三
蒙古　二三四
蒙古沿革考　一七一・三九
蒙古學　二三四
蒙古學報　二三四
蒙古吉林土風記　一七一・四七
蒙古高原橫斷記　二三九
蒙古考略　一七一・三九
蒙古五十一旗考　一七一・三九
蒙古事情　三九
蒙古縱斷旅行記　三八・二〇〇
蒙古人民共和國領域内に於けるオルホン及セレンガ河合流地點の草地　三六
蒙古侵略時代之土耳其斯坦評註　二五一
蒙古水道略　一七六・三九
蒙古臺卡略　一七一・三九
蒙古大鑑　三九
蒙古地誌　三九
蒙古地圖　三一
蒙古通信　三九
蒙古踏查報告集　二九
蒙古踏破記　三九・二四七
蒙古と青海　三六
蒙古に就て　三九
蒙古年鑑　三九

蒙古の高麗經略　二四四
蒙古の高麗征伐　二四四
蒙古の村落　一〇
蒙古風俗誌　二三九
蒙古風土記　二四七
蒙古邊防議　一七一
蒙古土産　二三九
蒙古問題　三六・二〇〇
蒙古遊記　一八六・一九〇
蒙古游牧記　二三四・二三九
蒙古羊毛取引について　二三九
蒙古要覽　二三九
蒙古旅行　二三九
毛山探勝錄　二五九
毛詩古樂音　二三九
毛詩多識　二四八
蒙藏新誌　二三六
蒙韃備錄　二三九
蒙韃備錄校注　二三九
蒙韃備錄箋證　七五
毛武游記　七三
最上郡案內　七三
最上郡史　七三
門司市勢要覽　一四一
モスコオ・一九三七年　二七九
妹背牛（モセウシ）（五萬分一地形圖）　二九八
勿吉考（池內宏）　二四四
勿吉考（津田左右吉）　二四四
木浦誌　一六三
元木（五萬分一地形圖）　二九六
木巢郡志　二四四
元泊（五萬分一地形圖）　二九八
本宮南町來由記　一〇
本山（五萬分一地形圖）　二九七
茂原（五萬分一地形圖）　二九六・二九八
模範大日本精密全圖　二七七
模範東京近傍大地圖　二九五
紅葉山（五萬分一地形圖）　二九八
森（五萬分一地形圖）　二九六
盛岡（二十萬分一地形圖）　二三九
盛岡（輯製二十萬分一圖）　二三九
盛岡（二十萬分一帝國圖）　二三九
盛岡案內　二四八
盛岡案內記　二四八
盛岡紀行　二三六
盛岡市街全圖　二三九
盛岡砂子　二三九
森島氏筆記　二三九
森岳（五萬分一地形圖）　七五
守谷町（二萬分一地形圖）　七三
守矢文書　七三
守矢賴眞書留　一〇六・一〇八
森吉山（五萬分一地形圖）　二九六
諸川町（二萬分一地形圖）　二九六
師崎（五萬分一地形圖）　二四四
諸塚山（五萬分一地形圖）　二四三
問題の支那？　一六三
問題の二語糺と汎　二九六
モンタヌス日本誌　二五二
文部省高等教員檢定地理科試驗問題竝に解答　八
紋別（モンベツ）（二十萬分一帝國圖）　三〇一

ヤ

矢板（五萬分一地形圖）　二九六・二九七
八尾（二萬分一地形圖）　二九六
やをかの日記　一一三
矢上（五萬分一地形圖）　二九六
八木（陸奥）（五萬分一地形圖）　二九三
八木村（丹波）（二萬分一地形圖）　三〇一
ヤクート自治共和國現勢　二三九
八代（五萬分一地形圖）　二九七
八代（輯製二十萬分一圖）　三〇〇
八代（二十萬分一帝國圖）　三〇一
八代城誌　二四四
柳井津（五萬分一地形圖）　二九六
谷中感應寺邊より淺草山まで（江戶邸宅圖）　六八
谷中墓地之圖　二九七
谷中本鄉駒込小石川邊繪圖　三〇四
柳河（五萬分一地形圖）　二九六
柳澤家祕藏寶記　二九六
柳澤保山一代記　一七六
屋根の傾斜と降水量との關係に就て　一〇
矢作川下流平野の農業地理　一〇
屋島名勝手引草　二三九
屋島めぐり　二九七
夜叉ケ池（五萬分一地形圖）　二三五
安來案內　二九七
八瀨大原の栗　二九六・二九七
野叟獨語　二七七
耶蘇會士日本通信（京畿篇）　二九五
耶蘇會士日本通信（豐後篇）　四〇
耶蘇會年報　一四三
谷田部町（二萬分一地形圖）　二九五
八尾（五萬分一地形圖）　二九七
八東郡大鷹村事績　二九七
八東郡誌　二三五
八ケ嶽（五萬分一地形圖）　二九七・二九九
八ケ嶽火山彙地質調查報文　二三九
八代（五萬分一地形圖）　二九六
八代（輯製二十萬分一圖）　三〇〇
八代（二十萬分一帝國圖）　三〇一
八代城誌　二四四
柳井津（五萬分一地形圖）　二九六
谷中感應寺邊より淺草山まで（江戶邸宅圖）　六八
谷中墓地之圖　二九七
谷中本鄉駒込小石川邊繪圖　三〇四
柳河（五萬分一地形圖）　二九六
柳澤家祕藏寶記　二九六
柳澤保山一代記　一七六
屋根の傾斜と降水量との關係に就て　一〇
矢作川下流平野の農業地理　一〇

山口（輯製二十萬分一圖）二〇〇
山口（二十萬分一帝國圖）二〇三
山口縣管內地圖 三四
山崎（播磨）（五萬分一地形圖）二九七
山崎直方博士略年譜 二一
山崎直方博士著作目錄 二一
山崎直方論文集 二〇
山崎博士と日本の地理學 二一
山崎村（二萬分一地形圖）二九六
山城 二一七・二四
山城全州墓誌銘集大成 二四
山城名勝念 三二・二四
山城名所記 二三五
山城名所社寺物語 二三
山城名跡巡行志 二三
山菅 四三
山田（五萬分一地形圖）二九七
山田（輯製二十萬分一圖）二九九・三〇〇
山田（二十萬分一帝國圖）三〇二
山田郡誌 七八
山田仁左衛門渡唐錄 二六
山寺名勝志 七二
大和王寺町の金石文 三〇
山と川 五二
大和川龜瀨附近の地之 三〇
大和川舊河床地域の村落境界 五
大和川舊河床地域の文化景觀の進化 四
大和川産魚族の研究 三〇
山と溪谷 五三
大和志 二一七・三二
大和路便覽 三二
大和尚山の研究 三四
大和志料 三二
大和全國街道里程表 三二
大和全國地圖 三二
大和地理と和歌 三二
大和地理歷史 三二
大和に於ける神武天皇聖蹟 三二
大和國細見圖 三二
大和國山陵圖 六二
大和國地名類字 三二
大和國町村誌集 三二
大和國御陵之圖 六二
大和の先史原史時代と王寺平野 三〇
大和めぐり（大阪鐵道局）三二
大和廻（貝原篤信）三二
大和めぐり（蓑笠庵梨一）三二
大和巡（水木要太郎）三二
大和名所記 三二
大和名所圖會 三三
山中湖（五萬分一地形圖）二七・二九
山梨鑑 一〇七
山梨縣案內 一〇七
山梨縣下各郡家塾及寺小屋調查 一〇五
山梨縣下國寶並保護建造物一覽 一〇五
山梨縣下四郡區別村名表 一〇五
山梨縣北巨摩郡山岳登山案內 九七
山梨縣北都留郡誌 一三二
山梨縣市郡村志 二四七
山梨縣全圖 一三二
山梨縣登山案內圖 一三二
山に憩ふ 三三
山日記 一三二
山の城合戰之記 一三二
山の素描 一三二
山の旅（秩父宮） 三三
山の旅（河田楨） 六二
山部（五萬分一地形圖） 一三二
山本道鬼入道百目錄閒書 一三二
彌滿（五萬分一地形圖） 六二
谷村（五萬分一地形圖） 二六
鎗ヶ嶽（五萬分一地形圖） 一三二
槍ヶ岳へ 一三二
槍ヶ嶽及乘鞍嶽近傍圖 一三二
八幡（美濃）（五萬分一地形圖） 一三二
八幡驛（下總）（二萬分一地形圖） 一三二

ユ

湯溫海（五萬分一地形圖） 一〇七
遊愛蓮亭記 一〇七
游安源公園記 一〇五
遊頤和園記（何省疾） 一〇五
遊頤和園記（莊夢山） 一〇五
遊隱山記 一〇五
遊隱山六洞記 一〇五
遊雨花臺記 一七二
遊雲巖記 一七二
遊雲臺山北記 一七二
遊雲臺山記 一七二
遊雲龍山記 一七二
遊衙輝古迹記 一七二
遊英京記 一四四
遊永州近治山水記 一四四
遊永州三巖記 九七
遊鴛鴦湖記 一五二
遊煙霞洞紀 一五二
遊燕子磯浴江諸洞記 一五二
游燕詩草 一〇五
遊燕子洞記 二九八
遊橫雲山記 二九七・二九八
遊橫山記 二九七
遊海嶽庵記 九七
遊懷玉山記 一四四
遊華嶽記 一四四
遊鵝湖山記 一四四
遊柯山記 一四四
遊華山記（王閣運） 一四四
遊華山記（沈海清） 一四四
遊峨眉山記 二九六
遊華不注記 一七六
遊臥佛寺香山園碧雲寺記 一七六
遊瓜步山記 一七六
遊觀音門譙樓記 一七六
遊寒山記 一七六
遊鴈蕩記 一七六
遊鴈蕩山記（周清原） 一七二・一七五
遊鴈蕩山記（趙鑄） 一七五
遊鴈蕩山記（潘耒） 一七三
遊鴈宕山日記 一七三
遊鴈蕩日記 一七四
游嶂餘意 一七三
結城（五萬分一地形圖） 二九六・二九九
結城町（二萬分一地形圖） 二九五
遊記（霞峯） 一七六
遊喜雨亭記 一七六
遊歸宗茵記 一八八
遊雁南諸山記 一七三
遊龜峰山記 一七三
遊九華記（懷應聘） 一七三
遊九華記（施閏章） 一七三
遊九華山記 一七三
遊九仙記 一七四
遊九鯉湖日記 一九一
由舊錄 九九
遊峽山寺記 一七六
遊行十六代祖四國廻巡記 四八・一三八
遊仰天記 一七四
遊京漫錄 五二
遊廻嶼院諸山記 一七四
遊玉笏峰記 一七五
遊玉泉山記（丁鴻賓） 一七七
遊玉泉山記（彭舜欽） 一九〇
遊玉簾泉記 一七六
遊漁洋山記 一七二
遊金華洞記 一七五

遊金牛山記 一七四
遊金焦北固山記 一七三
遊金粟泉記 一七六
遊金陵城南諸刹記 一七六
遊虞山記（黃金臺） 一七二
遊虞山記（沈德潛） 一七二
遊虞山記（尤侗） 一七二
遊軍山記 一七二
遊京口南山記 一七三
遊京師西山日記 一七六
遊惠州西湖記 一七六
遊雞足山記 一七四
遊敬亭山記（王慶麟） 一七三
遊敬亭山記（李雍） 一七三
遊瓊島記 一七六
遊雞鳴寺記 一七六
遊桂林諸山記 一七四
遊卦山記 一八九
遊月山寺記 一八八
遊嚴先生釣臺記 一七四
遊劍門記 一七四
遊乾陽洞紀略 一七五
遊黃嶽記 一八八
遊黃鶴樓記 一八八
遊杭記 一八八
遊黃公澗記 一八六
遊黃紅嶺記 一七五
遊吼山記（吳高增） 一七三
遊吼山記（李宗昉） 一七三
遊黃山記（袁枚） 一七三
遊雨山記（黃鉞） 一七三
遊黃山記（曹文植） 一七三
遊恒山日記 一九一
遊黃山日記（高燮） 一八九
遊黃山日記（徐宏祖） 一九一
遊贛州通天巖補記 一八八
遊江上諸山記 一七三
遊晃小草 一七三
遊硤石兩山記 一七三
遊高麗王城記 一六三・一七九
遊黃龍山記 一七四
遊虎邱記 一七四
遊浯溪記 一七三
遊後湖記 一七三
遊敬山記（洪若皐） 一七六
遊敬山記（朱仕琇） 一七四
遊鼓山記（徐鈒） 一七四
遊鼓山記（潘耒） 一七四
遊孤山記 一七二
遊吳山記 一七四
遊虎山橋記 一七四
遊湖心寺記 一七五
遊牛頭山記 一八八
遊牛頭鴉記 一八八
遊五姓湖記 一八六
遊姑蘇臺記（宋犖） 一七六
遊姑蘇臺記（汪琬） 一七五
遊五臺山日記 一七三
遊五臘山記 一七三
遊五蓮記 一七三
遊細林山記 一七五
遊三國嶺記 一九一
遊蒜山記 一八九
遊三遊洞記 一九一
遊三龍潭記 一八八
遊支硎中峰記 一七三
遊獅子林記 七八
遊七星巖記 一七三
遊周橋記 一七四
優秀スタンプ選集 一七四
遊消夏灣記 一七二
遊焦山記（黃金臺） 一七六
遊焦山記（吳錫麒） 一七六
遊焦山記（顧宗泰） 一七四
遊焦山記（謝振定） 一七四
遊焦山記（湯金釗） 一七四
遊焦山記（劉豐仁） 一七四
遊焦山記（冷士嵋） 一七三
遊章山記 一七二
遊鍾山記（洪若皐） 一九一
遊鍾山記（顧宗泰） 一七六
遊象山麓記 一七四
遊襄城山水記 一七四
遊蹤選勝 一七六
遊城南記 一七六
遊城南注 一七六
遊小盤谷記 九一
遊昌平明陵記 一七四
遊上方山記 一七五
遊赤壁記 一七五
遊石門記（安致遠） 一七四
遊石門記（羅澤南） 一七二
遊攝山記 一七四
遊仙巖記 一七五
遊善卷洞記 一七四
遊仙居諸山記 一七三
遊禪窟寺記 一七六
遊圖山記 八七
遊千頂山記 一七二・二四七
遊仙都峰記 一七五
遊總記 八二
由藏歸程記 一七二・二三三
遊雙谿記 一七六
游相日記 九四
遊滄浪亭記 一七六
西卒歌集 六八
遊徂徠記 一七四
遊大雲山記 一七四
遊泰園記 一七六
遊太華山日記 九二
遊太華寺記 一七六
遊大孤山記 一七三
遊泰山記 一七三
遊太室記 一七二
遊大小玲瓏山記 一七三
游台宕路程 二二五
遊大明湖記 一七六
遊太和山日記 一九一
遊丹霞巖九龍洞記 一七五

遊丹霞記　一七四
遊潭柘寺記　一七六
遊智門寺記　一七六
遊茶山記　一七二
遊中嶽記（車雲山人）　一八七
遊中嶽記（潘耒）　一七二
遊中禪寺記　七八
遊張家口記　一七二
遊張公洞記（吳寨）　一九〇・二二九
遊張公洞記（郤長蘅）　一七四
遊潮水巖記　一七四
遊釣臺記（黨湘）　一七五
遊釣臺記（鄒日泰）　一七六
遊圪塔山記　一七六
遊陳山記　一七三
遊珍珠泉記　一七六
遊通天巖記　一七五
遊程符山記　一七四
遊滴水巖記　一七四
遊鐵城記　一七五
遊天王山記　二四・一七九
遊湩紀事　一八八
遊天井峰記　一七五
遊天窗巖記　一七五
遊天台山記（洪亮吉）　一七三
遊天台山記（潘耒）　一九一
遊天平山記（呂星垣）　一七四
遊天平山記（龐樂園）　一八九
遊天目山記　一七三
遊唐王山記　一七四
遊銅瓦寺記　一七六
遊桃源山記　一七四
遊銅雀臺記　一七二
遊道場白雀諸山記　一八七
遊洞庭西山記（金之俊）　一七三
遊洞庭西山記（繆形）　一七二
遊洞庭兩山記　一七二
湧洞沼（五萬分一地形圖）　二九八
遊桐柏山記　一七四
遊難波記　一七五
遊南海中海記　一七四
遊南嶽記（金之俊）　一七二
遊南嶽記（潘耒）　一七二
遊南嶽記（羅澤南）　一七二
遊南嶽衡山記　一七三
遊南鴈蕩記　一七四
遊南湖記　一七四
遊南五臺記　一七六
遊南池記　一七六
遊南通縣記　一七七
遊日光山記　七八・一七九
遊甯古塔記　一七一・一四七
遊囊日錄　一七二
遊馬鞍山記　一七二
遊梅田洞記　一七三
遊馬駕山記　一〇三・一七四
遊普陀峰記　一七二
遊佛峪龍洞記　一七四
遊米見聞錄　一七四
遊白鵝山記　一七四
遊趵突泉記　一七六
遊白龍洞記　一七四
遊幕府山泛舟江口記　一七七
遊白鶴峰記　一七三
遊濱名湖記　一七二
遊婆羅洲記　一七二
夕張嶽（二十萬分一帝國圖）　一八〇・二六九
夕張炭山西部（五萬分一地形圖）　二九八
夕張町史　一七四
夕張日誌　四三
遊磻溪記　一七二
遊盤山記（高士奇）　一七二
遊盤山記（常安）　一七二
遊萬柳池記　一七二
遊媚筆泉記　一七六
遊百門泉記　一七六
遊武夷山記（袁枚）　一七六
遊武夷山記（洪亮吉）　一七六
遊武夷山記（陳日肅）　一七六
遊武夷山日記　一七一・一四七
遊福山記　一七二
遊伏波巖記　一七三
遊浮山記（何永紹）　一〇三・一七四
遊浮山記（李兆洛）　一七二
遊佛峪龍洞記　一七四
遊米見聞錄　一七四
遊平波臺記　一九一
遊碧巖記　一七三
遊碧落洞記　一七六
遊寶華山記　一七五
遊方記抄　一七二
遊方山記　一七四
遊包山記　一七三
遊豐山記　一七二
友邦支那　三〇一
遊寶藏寺記　一七四
遊奉天行宮記　一七二
有方錄　一七二
遊北固山記（阮宗瑗）　一七二
遊北固山記（周鎛）　一七二
遊北海記　一七二
遊保津川記　一七六
遊鵜鴣峰記　一七六
遊麻姑山記　一七六
遊麻姑洞記　一七四
遊松島記（平澤元愷）　一七四
遊松島記（細井平洲）　八八
遊明顯陵記　一九一
游名山一覽記　一七三
遊綿溪記　一七五
遊毛百詩　一七三
遊鷹窠頂記　一七三
有用鑛物資源と鑛產　一七五
有用鑛物と其の產狀　二八四
遊甬東山水古蹟記　一七五
有用動物の分布　一七六
遊楊歷巖記　一七五
遊瀨鄉記　一七二
遊洛陽龍門記　一七四
遊樂部岳（五萬分一地形圖）　二九九
遊覽案內　八三
遊爛柯山記　一七四
遊嵐峽記　一八三
遊欖山記　一七六
遊羅浮記　一七四
遊羅浮山記　二五五
遊覽地案內　四三
遊覽巖記　一七二
遊覽山記　一七二
遊覽泉記　一七六
遊覽池山記　一七三
遊覽池山記（陳經）　一七二
遊覽亭記　一七六
遊覽洞山記　一七四
遊龍門記（喬光烈）　一七四
遊龍門記（喬作棟）　一八七
遊龍門香山記　一七四
遊淩雲記　一七三
遊兩尖山記　一七四
遊林廬山記　一七四
ユール氏註マルコ・ポーロ紀行補正　二五五
ユール氏註マルコポーロ紀行補正二則　二五三
遊靈巖記（尤侗）　一七二
遊靈巖記（姚鼐）　一七五
遊靈巖山記　一七二
遊靈巖寺（樂昌會）　一八七
遊靈谷寺記　一八七
遊靈山記　一七三
遊歷雜記　八四
遊歷記　一七四
遊歷劄言　一七九・二五四・二五六
游歷日本圖經　五三
遊歷筆記　二四・一八〇
遊連雲山記　一七四
遊狼山觀音禪院記　一八九
遊勞山記　二〇三
遊廬山記（袁枚）　一七三
遊廬山記（後記共）（惲敬）　一七三
遊廬山記（洪亮吉）　一七三
遊廬山記（潘耒）　一七三
遊蠟山記　一七三
遊廬山日記　一九一
遊廬山天池記　一七三
湯河原溫泉療養誌　六三・九四
油木（五萬分一地形圖）　二九七
雪能飽田寢　七〇
雪乃膽澤邊　六九・七一
雪の田羽路（雄勝郡）　七〇
雪能袁昌智泥　七一
雪乃母呂太奇　六七・七一
雪乃道奧雪の田羽路　七〇
雪のやま險え　七二
行橋（五萬分一地形圖）　二九八
行水之記　一七五
湯澤（羽後）（五萬分一地形圖）　二九六
湯澤（越後）（五萬分一地形圖）　二九七
湯澤紀行　四三
湯島一丁目と附近の今昔誌　九一
湯島溫泉記　六三・二三〇
橋原（五萬分一地形圖）　二九七
讓原村（二萬分一地形圖）　二九五
湯坪村と火燒輪和　八六
湯平（五萬分一地形圖）　二九六
夢のしをり　四七・二三三
夢夢物語　二九七
湯本（五萬分一地形圖）　二九七
由利十二頭記　七〇

ヨ

余市（五萬分一地形圖）　二九九
八日市場（五萬分一地形圖）　二五三
瑤琴　二四
洋行赤毛布　二四
洋行日記　二九七
洋行土產　七〇
洋行土產談　八九
陽山遊記　七〇
揚洲畫舫錄　二二五
揚州紀遊　六七・七一
揚州鼓吹詞序　七〇
揚州水利論　七二
雍州府志　二九八
揚州名勝錄　九四
羊城古鈔　九四
幼少兒童の地理教育に情操教授の重要性　三〇四
洋人日本探檢年表　五八・九四
揚子江　二六二
揚子江（海圖）　二九七
揚子江河川誌　二二五
揚子江口至重慶府沿岸地圖　二〇二
揚子江上流地方調查日誌　二九八
揚子江上流地方旅行線路圖　四七・二三三
揚子江水利考　二九六
揚子江水路志　二九七
揚子江本支流總圖　二九七
揚子江流域　一〇四
揚子江流域視察報告書　一三九
陽羨遊覽記　六六
葉調斯調與瓜哇　九四・二〇四
葉調・斯調・私訶條について　九四・二〇四
吉井（五萬分一地形圖）　九四
吉井町（二萬分一地形圖）　九四
吉岡（五萬分一地形圖）　二九七
吉田（五萬分一地形圖）　二九七
吉田郡誌　一〇四
吉田古記　一三九
吉田松陰東北遊日記抄　六六
吉田新田關係古圖　九四・二〇四
吉田新田古圖文書　九四・二〇四
吉田新田圖繪　九四
吉野記　三〇・一三二
吉野閒書　八
吉野紀行　一二七
吉野枝折　一三二
吉野精華　一三二
吉野探勝　一三二
吉野花見記　四三
芳野遊の記　一三二
吉野名所誌　一三二
吉野詣記　四・四六・四八・五一・一二七
吉野山（五萬分一地形圖）　二九七
横濱の沿岸　九四
横濱の今日　九四
横濱繁昌記　九四
横濱明細圖　三〇四
横濱名所圖會　五八・九四
横濱より紐育まで　二六二
横山（五萬分一地形圖）　二九七
與謝郡誌　二三四
豫志　二〇二

遊靈巖記（姚鼐）　一七五
遊靈巖山記　一七二
遊靈巖寺（樂昌會）　一八七
遊靈谷寺記　一八七
遊靈山記　一七三
遊歷雜記　八四
遊歷記　一七四
遊歷劄言　一七九・二五四・二五六
游歷日本圖經　五三
遊歷筆記　二四・一八〇
遊連雲山記　一七四
遊狼山觀音禪院記　一八九
遊勞山記　二〇三
遊廬山記（袁枚）　一七三
遊廬山記（後記共）（惲敬）　一七三
遊廬山記（洪亮吉）　一七三
遊廬山記（潘耒）　一七三
遊蠟山記　一七三
遊廬山日記　一九一
遊廬山天池記　一七三
湯河原溫泉療養誌　六三・九四
油木（五萬分一地形圖）　二九七
雪能飽田寢　七〇
雪乃膽澤邊　六九・七一
雪の田羽路（雄勝郡）　七〇
雪能袁昌智泥　七一
雪乃母呂太奇　六七・七一
雪乃道奧雪の田羽路　七〇
雪のやま險え　七二
行橋（五萬分一地形圖）　二九八

よしの山しるべ　一三三
吉野山名所誌　一三三
吉原（五萬分一地形圖）　二九七
吉原町（五萬分一地形圖）　二九九
豫章古今記　二一五
爺族につきて　二一
輿地學教程　二一
輿地經緯度里表　一七〇
輿地廣記　一八三
輿地誌略（吉地盈譯）　二一・二七七
輿地誌略（内田正雄譯）　二一
輿地全覽　一七〇
輿地略　一七〇
四日市（三十萬分一地形圖）　二九三・二九四
四日市市史　二一九
四日市町（五萬分一地形圖）　二九七
輿津岬（五萬分一地形圖）　二九七
輿津岬（輯製二十萬分一圖）　三〇〇
輿津岬（二十萬分一帝國圖）　三〇三
四谷（一萬分一地形圖）　三〇六
四谷舊事談　二九
四谷區（東京切繪圖）　三〇六
四谷區史　九一
四谷區全圖　三〇七
四谷鮫橋青山邊まで（江戸邸宅圖）　三〇五
四ツ谷千駄ヶ谷内藤新宿邊繪圖　三〇四
淀（二萬分一地形圖）　二九六
澱川兩岸一覽　二三四・二三八

ラ

漆易紀遊　一八七
禮記王制地理圖說　一八三
麗史提綱　一五九
來内澤（ライナイ）（五萬分一地形圖）　二九六
來子（ライナイ）（五萬分一地形圖）　二九七
來子案内　二三四
來那原線鐵道案内　一四八
來澤（ライナイ）（五萬分一地形圖）　二九六
來澤　七二
來澤市内に於ける屋敷割と屋敷内の土地利用の變遷　五
來澤通覽　七二
來山（二十萬分一地形圖）　二九三・二九四
余の漫畫帖から　二五六
呼子港（海圖）　三一七
余別（五萬分一地形圖）　二九九
豫北旅行記　一八九
豫遊少識　一三九
豫陽郡鄉俚諺集　一三九
豫陽叢書　一三九
代々木村の今昔　二八
輿覽　一七〇
寄居（五萬分一地形圖）　二九六・二九九
寄居町（二萬分一地形圖）　二九五
夜の京阪　三二四・三二八
鎧之渡柳原兩國箱崎邊繪圖　三〇四
輿論島（二十萬分一帝國圖）　三〇二
琉球向歸日本辨　一四八・一七九
琉球國鄉帳　三〇・一四八
琉球國志略　一四八
琉球國事略　一四八
琉球國中山世鑑　一四八
琉球古今記　一四八
琉球雜話　一四八
琉球三寃錄　一四八
琉球三省竝三十六嶋之圖　一四七・一四八
琉球志　一四八
琉球史概觀　一四八・一七九
琉球實錄　一四八
琉球諸島風物詩集　一四八
琉球處分　一四八
琉球處分提綱　一四八
琉球使略　一四七
琉球事略　一四八
琉球新誌　一四八
琉球人南洋通商の最古の記錄　一五四
琉球征伐記　一四八
琉球誌略　一四八
琉球全圖　三一四
琉球談　一四八
龍江省篇（省政彙覽）　一七一・二四六・二四七
龍沙紀略　二四七
龍沙紀略（考訂）　三四・三七・四七・二七九
龍神（五萬分一地形圖）　二九六
龍瑞觀禹穴陽明洞天圖經　二九六
龍井遊記　一四八
龍泉寺記　一四八
龍飛御天歌　一四八
柳邊紀略　一四八
龍母洞記　一四八
立圖東の記行　一四八
龍民遊記　一四八
龍門石窟　一四八
龍游縣志　一四八
留憂誌　一四八
劉伶臺記　一四七
リュックサック　一四八
遼河（海圖）　一四八
遼海叢書　一四八
遼海叢書總目提要　一四八
遼海叢書附錄　一五一
遼河と松花江　三一四
兩漢紀字句異同考　一四八
遼紀　一四九・一七九
兩京去留誌　一七・一四九
梁京寺記　一四九
兩京市誌　一四九
兩京新記　一四八
遼金元北徼諸國傳　一四九
遼史各外國地理攷證　一八八
攬轡錄　四四・七七・九八
覽富士記　一八八
灤陽錄　二〇二
蘭領印度　二〇二
蘭領印度を語る　二〇二
蘭領印度關稅定率法及關係法規　二一二
蘭領印度行政關係法規及選擧法　二一二
蘭領印度に於ける金融狀況　一七四
蘭領印度の研究　二一二
蘭領印度の政治並其批評　二一二
蘭領印度モロツカス群島近海の鰹漁業並に同地方沖繩縣漁民の狀況　二一二
蘭領東印度（石井謹吾）　二一二
蘭領東印度（外務省通商局）　二九九
蘭領東印度（中山成太郎）　二一二
蘭領東印度群島地質論　二一二
蘭領東印度事情　二一二
蘭領東印度諸島に關する地質學的研究の沿革　二一二
蘭領東印度諸島西半分に關する地質學的研究　二一二
蘭領東印度地誌　二六九
蘭領東印度に於けるカカオの栽培　二一二
蘭領東印度に於ける各種會社利益配當率一覽　二一二
蘭領東印度に於ける繊維材料　二一二
蘭領東印度に於ける煙草栽培法　二一二
蘭領東印度に於ける土人ゴム栽培　二一二
蘭領東印度に於ける椰子の栽培　二一二
蘭領東印度篇（南洋叢書）　二六七
蘭領東印度立法行政法竝選擧法　二一二
良佐島（百萬分一輿地圖）　三〇二
羅山記　一七四
羅處和島（二十萬分一帝國圖）　三〇二
樂古岳（五萬分一地形圖）　二九六
ラテン・アメリカ紀行　二九七
ラテン・アメリカに於ける石油資源の地政學的意義　一八九
羅東（五萬分一地形圖）　一三九
羅浮山志會編　一三九
羅府年鑑　二八
羅浮遊記　一七〇
嵐溪史　二九五
蘭使日本紀行　二九五
蘭州瑣記　二九六・二九九
蘭州風土記　二九六
覽勝詩艸　三〇〇
蘭人の蕃社教育　公五
蘭船濟州島難破記及朝鮮國記　二六
蘭亭紀遊　一九〇
蘭亭曲水　一八三
蘭亭遊記　一五九
藍田谷口先生全集　五二

リ

陸羽地震調査概報　一一
六義園記　公五
陸軍部測量局發行輯製二十萬分一圖　二九六・三〇〇
陸地測量部出版地圖區域一覽圖　二九五
陸地測量部發行二萬分一地形圖　二九五
陸地測量部發行五萬分一地形圖　二九六・二九九
陸地測量部發行輯製二十萬分一圖　三〇〇
陸地測量部發行地圖區域一覽表　三〇一
陸地測量部發行地圖目錄　二九五
陸地測量部發行二十萬分一帝國圖　三〇二
陸地測量部發行百萬分一東亞輿地圖　三〇二
六朝事迹　二一五・二一六
六朝事迹編類　二一五・二一六
淺別（五萬分一地形圖）　二九八
淺別（二十萬分一帝國圖）　三〇一
理慶尼記　一七七・二三三
灘江雜記　二三三
灘江游草　一八三
李氏五種合采　一五五
李氏臺灣紀行　一五九
李舜臣全集　一五五
灘湘二水記　四二
李石門扶桑錄　二七七
栗山日記抄　八
律令時代初期の村落　六
律令時代に於ける都市と村落　一六〇
李朝の文人　二四八
李鐵君文鈔　一四・二五〇
利瑪竇世界地圖專號　二五一
劉郇西使記　一八四
琉客談記　一四八
龍崎（五萬分一地形圖）　二九六・二九九
龍崎（二萬分一地形圖）　二九五
劉郇北使記　二五一
琉球紀行　一四八
琉球共產村落之研究　一七・一四八
琉球紀略　一四八
琉球形勢略　一四八・一七九
琉球建築　一四八
琉球見聞錄　一四八
亞輿地圖　三〇二

梁書夷貊傳地理攷證　二五五
涼州異物志　二〇二
涼州記　二〇二
梁州記　二九七
遼小史　二四七
兩征厄魯特記　一七六
兩浙水利詳考　一五八
遼代烏古敵烈考　一七一・二四七
遼代紀年考　一七五
兩鎭撫上書　二四八
遼東行部志　一七七
遼東志　二〇二
遼東志略　二一六
遼東半島南部に於ける漢民族移住の地理的考察　四・二四八
遼東半島の海岸地形に就いて　四・二四八
遼東浪迹記　一七七
遼寧遊記　一八九
遼の制度の二重體系　二四四
遼の遼東經略　二四四
涼風五十五日　一五一
兩部大法相承師資付法記　二四六
陵墓一隅抄　一六三
陵墓一覽　一六三
兩豐海上行囊抄　二一六
兩豐記　八九・二一三
遼方鎭年表　二〇二
遼北徼圖說　二四七
遼墓資料　二四七
陵墓要覽　一七一・二四六・二四七
遼文萃　二四七
遼陽州志　二四七
遼陽聞見錄　二四八
綾里（五萬分一地形圖）　二九六
旅行　一五一・六四
旅行案内　五五
旅行灌縣青城山日記　一八八
旅行九華山記　一八九
旅行仰天記　六四
旅行俱樂部　一八八
旅行杭縣西湖記　五五
旅行者寶鑑　五五
旅行須知　六四
旅行世界　五二
旅行談　一九〇
旅行天目山日記　五五
旅行用心集　六〇
旅行禮讚　二四八
旅順　三三
旅順蓋平間詳細圖　三一七
旅順港及近海（海圖）　三一七
旅順港近海（海圖）　一八九
旅順考査　一八七
旅順遊記　六四
旅情　一四五
虜情問答　二七七
虜廷事實　二四八
旅程と費用概算　五五
旅順見聞錄　一八八

旅盧日記　一八七
里壚（五萬分一地形圖）　二九九
林業經濟地理　三
林西及經棚事情　二四六
隣邦ロシア　二七九
林邑記　二六九

ル

類腋　一八五
類字名所外集　六〇
類字名所補翼鈔　六〇
類字名所和歌外集　六〇
類字名所和歌集　六〇
類聚國史補闕地理部・諸國部　三六
類聚名物考地理部　三六
留多加（五萬分一地形圖）　二九八
留壽都（五萬分一地形圖）　二九九
呂宋覺書　二六〇
呂宋紀略　一七・一八〇・二六九
琉璃廠書肆記　一九六
琉璃廠書肆後記　一九六
留朋（五萬分一地形圖）　二九八
留朋（二十萬分一帝國圖）　三〇一

レ

嶺外代答　三三・三五六
靈巖懷舊記　一七二
黎岐紀聞　一七九
犂軒爲埃及亞歷山大城說　二五一
黎軒と大秦　二五四
麗江紀略　一九一
麗江紀略　一七三
麗水縣史　二一六
靈仙三藏行歷考　二五六
蠡測卮言　一八〇
嶺南雜記　一六八・一七八・二一三
嶺表錄異　二一三
嶺表錄異記　二一三
麗遊　九一
歷卜志遊　一七七
櫟齋小品　五三
歷史及地理　一五
歷史地理　三七
歷史地理（雜誌）　一五・一六
歷史地理學（小牧實繁）　三・六
歷史地理學（坪井九馬三）　三
歷史地理大觀かまくら　九一
歷史地理朝鮮號　一〇七
歷史地理の甲斐　三七
歷史地理の研究　五
歷史地理篇（志賀重昂全集）　一六
歷史と地理　三一
歷代疆域形勢一覽圖　六三
歷代御陵巡拜の栞　一八三・三一
歷代御陵墓參拜道順路御宮　六三
　詣官國幣社便覽
歷代地理沿革圖　一七九
歷代地理沿革表　二五一
歷代地理志譯編今釋　二五四
歷代地理圖　一九一
歷代帝王宅京記　一七三
歷代廟陵考補遺　二一六
歷代北徼用兵將帥傳　二五六
歷代輿地沿革險要圖　一八〇
歷代輿地沿革險要圖說　一七九
列強大戰爭地圖　一八〇
洌水考　二一六
洌陽歲時記　一七三
レニングラードの地理學博　九一
　物館を語る
レ禮文（五萬分一地形圖）　五三
レ禮文ナイ禮文內（五萬分一地形圖）　五三
蠡下歲時記　三七
棟亭書目　三七

ロ

露亞經濟調查叢書　九一
老稼齋燕行日記　一〇七
狼牙脩國考　三七
籠耳集　五
老松堂日本行錄　一六
隴蜀之遊　三一
隴蜀餘聞　六三
浪淘集　一七
勞農西比利の近情　一八
勞農露國研究叢書　一八
勞農露國に於ける外國人の　二七九
　法律的地位
勞農露國の情態　二八〇
勞農露西亞の國賓として　二八〇
勞農露西亞の實情　二八〇
露國東部經營部面全圖　三一八
露國に於ける私營事業及私　一七九
　有財產權
露國に於ける勞働需給關係　一七九
露國の工業組織　一七九
露國の國營事業　一八四
露國の自治共和國及自治州　一七九
露國の農村經濟統計　一七九
露國民　一七七
露國記　一七七
露國紀遊　一七三
露國紀遊圖詠　二一六
露國後錄　二一六
露國草堂記　二一六
露國遊記　一八八
露國錄　二一六
露國を打診する　二八〇
　ロシヤ
露國寄語　一七七
露國極東地方　二五九
露國經濟史　一七九
露國月報　二八一
露國閒記　一七七
露國國勢概觀　二八〇
露國視察談　二八〇
露國事情　二八一
露國時代の大連　二四八

露西亞諸民族の研究　二七九
魯西亞新紀聞　二六・二七七・二八〇
魯西亞世代略　二七七
露西亞全圖　三三
露西亞大觀　二八〇
露西亞帝國（ボリュー）　二八〇
露西亞帝國（平田久）　二八〇
ロシヤ讀本　二八〇
ロシヤの現實　二八一
露西亞評論　二六・二七七
魯西亞風土記　一五二
露西亞文化と函館　二七七
魯西亞本紀略　二七七
魯西亞來貢本末襍記　二五六
露西亞領烏蘇里以南之圖　二五九
露支國境考　三一
露支國境圖　二三五
路振乘軺錄　二〇三
潞水客談　一八七
魯鄒聖蹟記　二九九
鹿港（五萬分一地形圖）　一五六
鹿港街沿革　二九六
六甲山（二萬分一地形圖）　九
六甲山塊南北の比較　二八〇
露都雜記　二一六
廬陽客記　二五九
露領烏蘇里地方　二五九
露領沿海州水路誌　二五七
露領沿海地方及北樺太　二五七
露領沿海地方及接壤地方圖　三八
露領極東及西比利亞の經濟　二七九
　事情
龍動新繁昌記　二五六
倫敦繁昌記　二五五

ワ

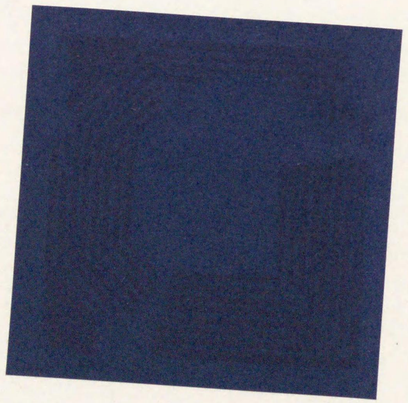
淮史述要　二三五・二一六
淮水考　一七五
淮水說　一七五
淮水編　一七五
隈府（五萬分一地形圖）　二八八
淮北水利說　一七五
我國內地に於ける石炭運輸　九
　の研究
我國に於ける地理的南北性　五
和賀郡誌　六九
和歌山史要　八四
和歌山と和歌浦　一三三
和漢三才圖會地理部　三〇・四二・一一七
和紀記行　二九七
脇岬（五萬分一地形圖）　二九八
脇町（五萬分一地形圖）　二九七
或問防海漫記　二七七
涌谷（五萬分一地形圖）　二九六
和氣（片上）（五萬分一地形圖）　二九七
和氣絅　二五五
和氣清麻呂傳　一三五
和食（五萬分一地形圖）　一〇
鷲崎（五萬分一地形圖）　二九六
輪島（輯製二十萬分一圖）　七四
輪島（二十萬分一帝國圖）　三〇一
輪島（二十萬分一地形圖）　二九三・二九四
輪島（五萬分一地形圖）　二九七
輪島漆工業の地理學的研究　四
和州舊跡幽考　三〇・三三
輪中聚落地誌　二一二
輪中聚落の社會經濟生活史　六
　の一面
我が國に於ける地理的南北性　四二・一三二
和賀郡誌　三三
和州奈良之繪圖　八
輪中の地理學的研究　一〇
輪中類似の地域について（臺　三五
　灣）
早稻田（一萬分一地形圖）　三〇六
早稻田及附近之圖（嘉永五）　三〇九
早稻田大學圖書館藏地圖目錄　三七
倭俗錄　三七
和田（羽後）（五萬分一地形圖）　二九七
和田（信濃小縣郡）（五萬分一　二九七・二九九
　地形圖）
和田（信濃下伊那郡）（五萬分　二九六
　一地形圖）
若松案內記　二八〇
若松市誌　七九
若松城圖　二七五
若柳（五萬分一地形圖）　三七
和歌山（二十萬分一帝國圖）　四四・九四・一一三
和歌山（二十萬分一地形圖）　二九五
和歌山縣管內市町村改定全圖　二八五
蕨驛（二萬分一地形圖）　二九五
我等の發展地メキシコ　二八五

昭和十六年八月五日印刷
昭和十六年八月十日發行

非賣品

編輯兼發行者　早稻田大學圖書館
東京市淀橋區戸塚町

印刷者　五十嵐良晃
東京市牛込區榎町七番地

印刷所　大日本印刷株式會社榎町工場
東京市牛込區榎町七番地

七寸3M-10